

資料 2

オーテピア高知図書館サービス計画進捗状況(R2.11.2 会議資料)

- | | | | |
|---------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| 1 地域を支える情報拠点機能の充実 | | 3 利用者に応じた図書館サービスの充実 | |
| (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約) | … P1 | (1)児童サービス | … P24 |
| (2)高知県関係資料の収集・保存・提供 | … P7 | (2)ティーンズ・サービス | … P26 |
| 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 | | (3)多文化サービス | … P28 |
| (1)レファレンス・サービス | … P9 | (4)図書館利用に障害のある人へのサービス | … P30 |
| (2)課題解決支援サービス | | 4 連携・支援及び図書館の活用 | |
| ①ビジネス・農業・産業支援サービス | … P11 | (1)市町村立図書館等への支援(県立図書館機能) | … P33 |
| ②健康・安心・防災情報サービス | … P15 | (2)高知市全域サービスの拠点(市民図書館機能) | … P36 |
| (3)情報リテラシー向上支援サービス | … P18 | (3)県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能) | … P37 |
| (4)行政支援サービス | … P21 | (4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携 | … P38 |

1 地域を支える情報拠点機能の充実

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

(1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)1/3

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	
①資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します。	図書受入	購入 17,496冊 寄贈等 3,872冊 全体受入数 21,368冊(郷土を含む)	【成果】△ ・新聞や雑誌・ネット等で紹介された書籍などは利用者からの要望も多く、すばやく対応し、利用者の要望に応えられている。 【課題】・リモートワークによりデジタル化が進み、紙離れが懸念されている。ネットでの公開のみとされている書籍も多く、収集しづらい状況がある。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		雑誌や新聞は、一般的なものだけでなく、専門的なものも含めて、2,000タイトル以上を収集し、提供します。	新聞	購入 108紙 寄贈等 52紙 全体受入数 160紙	【成果】○ ・幅広いジャンルの新聞・雑誌の収集し提供することにより利用者の要望に応えられている。 【課題】・コロナ禍により雑誌の休刊が増えているため、新たな雑誌の購入検討が増えている。1か月に2～3誌休刊となることもあり、購入検討や事務処理、排架処理が煩雑となっている。	休刊となる度、排架場所の変更(揺り動かし)が必要となり窓口業務として非常に煩雑となるため、新たな購入雑誌の受入開始時期を半年に1回程度にまとめ、効率化を図る。
		雑誌	一般 1,609タイトル 郷土 423タイトル 全体受入数 2,032タイトル(県市重複あり)	【成果】○ ・開架⇔閉架は利用者のニーズ・要望に合わせて適宜排架し、応えられている。 【課題】・開架のスペースは限られているため、古い書籍は閉架書庫に排架せざるを得ないが、利用者が直接手に取って見てもらうことができない。	利用者からの情報・要望により、開架に出すべきかどうかをすぐに協議し、資料情報修正の後、図書利用が排架する。	
開架スペースには、30万冊以上の資料を配置し、提供します。	開架冊数	365,952冊	新刊を逐次購入し、利用者のニーズに応える。 ※数値は8/14の蔵書集計表より	【成果】○ ・開架⇔閉架は利用者のニーズ・要望に合わせて適宜排架し、応えられている。 【課題】・開架のスペースは限られているため、古い書籍は閉架書庫に排架せざるを得ないが、利用者が直接手に取って見てもらうことができない。	利用者からの情報・要望により、開架に出すべきかどうかをすぐに協議し、資料情報修正の後、図書利用が排架する。	
電子書籍サービスは、閉館時でも、来館しなくても、資料を一定期間、閲覧できるなどのメリットがあります。メリットやデメリットを見極めながら導入します。	閲覧回数	8,494回	利用可能タイトル数 5,234タイトル	【成果】○ コロナ禍による休館や外出自粛要請により、非来館利用が可能な本サービスへの関心が高まった。併せて、メール登録を4/27より可とし、地元紙に取り上げてもらったことから、登録者は前年度末の約3倍、閲覧回数も4か月ですでに昨年度の2.6倍(昨年同期比)となっている。 【課題】この好機を生かし、今年度利用増となった閲覧回数を維持する必要がある。	コンテンツをこまめに追加購入することで、利用者の関心を継続するとともに、今年度の予算残で来館者の目を惹く広報物(開架エリアに設置が可能な自立型の立て看板などを想定)を制作するなどの対応を行う。	

1 地域を支える情報拠点機能の充実

(1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)2/3

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度					
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)		
				成果	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		
				課題			
① 資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	ハイブリッド型図書館を目指して、紙媒体の資料に加え、視聴覚資料やデータベース、デジタル化した歴史的資料など、電子媒体の資料を充実し、提供します。	視聴覚	所蔵数	23,075 点	【成果】○ ・データベースは、マーケットシェア事典オンラインを導入したことで、昨年度まで複写を認められていなかった紙資料の『マーケットシェア事典』が今年度分から著作権の範囲内で複写が可能となり、利用者の利便性が向上した。 【課題】 ・データベースについて、新規導入した2つのデータベースのうち、日本農業新聞の利用が伸びていない。 ・視聴覚資料については、家庭で楽しめることも向け資料も収集していく。	紙資料以外の資料については利用者からの要望も多いため、継続して収集・提供に努める。 ・データベースについては、職員が講師を務めるミニ講座の開催や、外部講師に依頼して行う講習会の開催を検討中。 視聴覚資料については、ウェブ・サイトに公開している資料リストを更新する。
				利用数	15,338 回		
			データベース	種類	25 種		
				利用回数	のべ 810 回		
			デジタル化資料	目録数	31,584 点		
				画像数	12,861 点 <small>※一部は制限付き資料のため、「非公開」</small>		
			視聴覚資料については、外出しづらい世情を鑑み、家庭で楽しめる映画DVDや落語・朗読CDなどを積極的に収集した。 ・データベースは、4/1から日本農業新聞、マーケットシェア事典オンラインを新規導入した。				
② 貸出し・予約・リクエスト	セルフ式貸出機等の利用	セルフ式貸出機やセルフ式予約受取コーナーを配置し、利用者の使いやすさやライフスタイルに合った環境を整備します。	高知資料の保存数		点	【成果】× なし スペース確保の問題で未着手	同左
						【課題】 県立図書館としては必要な機能であり、資料の整理に要するマンパワーとスペースの確保ができていないことから現状では未着手。時期サービス計画に向けてどうするかが課題。	同左
			セルフ貸出機利用率(貸出点数比)	79.92	%	【成果】○ ・貸出し業務の負担が減ったことで、レファレンス等のカウンター業務の時間を確保できた。 【課題】 セルフ貸出機の利用率アップに向けて引き続き案内を行うが、令和元年の通信利用動向調査での都道府県別インターネットの利用状況では、高知県は85.6%ととなっており、最高でもその程度の割合と類推される。(利用者数との比では82.50%に達している)	セルフ貸出機について、引き続き利用方法等の案内を行う。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日						令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)						成果
②貸出し・予約・リクエスト	た市資料の立貸出図書館等を通し	資料は、来館しなくても、市町村立図書館等を通して貸し出します。	相互貸出	貸出	11,953 点	【成果】△	オーテピアが休館した場合でも、希望する市町村に対しては協力貸出が継続できるよう、館として休館時の運営方法を検討する。	
			新型コロナウイルス感染拡大による休館・利用制限のため、年度当初は利用が低調だったが、8月時点でほぼ前年度並みまで回復している。			【課題】休館時、協力貸出を全面休止したため、業務を継続していた市町村(主に図書館未設置町村)への資料提供もできなかった。		
	資料のリクエスト	資料のリクエストは、収集基準に基づき判断し、地域のニーズを踏まえて、入手可能な資料は積極的に収集します。	【取組】 ・リクエストを受けた資料は積極的に収集した。 ・入手困難なものは相互貸借にて対応した。			【成果】○ ・書店で購入できないものは出版社から直接購入をしてリクエストに応えるようにしている。	・受付時のミスを減らし早く利用者へ資料提供ができるように、リクエスト受付の研修を行い、全職員が抜かりなく受付業務を遂行できるようにする。	
	取り寄せ(相互貸借)	当館にない資料は、希望の資料を所蔵する図書館等を調べ、取り寄せに時間のかかる場合などもあります。可能な限り、要望に応じます。	借受業務受付冊数		264 冊	【成果】○ ・当館にない資料でも、他館から取り寄せて、利用者へ提供できている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者立ち入り禁止となっていた大学図書館の資料を、相互貸借で提供することができた。	【借受】 ・作業手順等を見直すなど、依頼件数の増加への対応策を講じる。 ・受付時のミスを減らし、早く利用者へ資料提供ができるように、リクエスト受付の研修を行い、全職員が抜かりなく受付業務を遂行できるようにする。	
のり整く備エ	リクエスト申込書を館内の利用者の目につきやすい場所に設置します。また、リクエストサービスを紹介するチラシなどを作成し、提供します。より便利な環境を整備するため、図書館ホームページからのリクエスト専用フォームの導入の検討を行います。	リクエスト用紙は館内に設置し、窓口にて受付をしている。また、メールや電話等でも受け付けている。			【成果】△ リクエスト件数 1,252件 ※相互貸借件数含む	【課題】ウェブ・サイトからのリクエスト申込は、本を特定できないあいまいな情報のものも多くなるため、専用フォームの導入には十分な検討が必要	他県の図書館でリクエスト専用フォームがある所を調査・参考にし検討を行う	

1 地域を支える情報拠点機能の充実

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

(1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)3/3

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度					
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降			
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)			
		成果		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) 県民・市民への説明を意識して記入			
		課題					
③ 展示	さまざまなテーマによる企画展示の実施	高知ならではのテーマ、ビジネスや健康など課題解決に役立つテーマ、時事や季節に合わせたテーマなど、さまざまなテーマによる展示を行います。	高知資料	11回	【成果】高 ○ 2度の県立大との連携展示を実施し、県立大学生の利用が増加した。よさこい展示についてはよさこい自体の中止の影響もあり、マスコミなど問い合わせが去年より多く好評だった。	—	
			ビジネス支援	7回	ビ ○ 関係機関の方たちに喜ばれた。	—	
			健康安心防災	11回	健 ○ 時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。「一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展」など、普段貸出のない資料も展示をとおして貸出回数が伸びている。	—	
			行政	4回	行政 ○ 展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。	—	
			児童	4回	児 ○ 展示された本の貸出しが増加した。	—	
			ティーンズ	5回	ティ ○ 展示された本の貸出しが増加した。	—	
			多文化	6回	多 ○ 関係機関と連携しながら実施することで、利用者増につながっている。	—	
			バリアフリー	1回	バ ○ 2Fゲート入口すぐの場所に布絵本の常設展示を実施し、貸出が増加した。	—	
			展示回数		【課題】		
			展示内容		高知資料 ・1/11～4/17 昭和の博覧会と肖像写真 ・3/26～5/24 別役実さん逝去 ・3/26～5/24 デビュー25周年西澤保彦 ・5/12～6/28 四国遍路「修行の道場」土佐の札所巡り ・5/27～7/15 濱口雄幸と野村茂久馬 ・6/2～6/30 本で旅する高知ガイド ・7/14～8/8 よさこい図書展示 ・7/18～8/30 よさこいポスター展示 ・7/21～9/22 中城文庫展 ・7/25～8/30 高知について調べてみよう ・8/1～8/13 よさこい展示2020 ・8/1～9/22 英語を学ぶための30冊 ・8/7～8/30 よさこい写真展示	高 2度の県立大との連携展示を実施し、県立大学生の利用が増加した。よさこい展示についてはよさこい自体の中止の影響により直前まで展示物が揃わなかったりし広報などに遅れが出た。	県立大との連携も続けて行い、県立大学生のみならずその他の学生の利用増加へ繋げる。
ビジネス		ビジネス ・5/12～5/31 うちゼミ ・5/12～5/31 在宅勤務他 新型コロナで変わる仕事— ・7/1～8/8 放送大学で人生を愉しむ力を ・8/13～9/30 男女共同参画課連携展示 ・6/26～11/27 こうちのohana満開プロジェクト関連本展示 ・常設 移住×地域展 ・常設 科学道100の本	ビ ・サービス業やスケールの大きな製品など、館内で実物の展示ができない業種についても、展示を通じた支援の形を考える必要がある。	・製品展示に限らず、パネル展示と組み合わせて、企業・団体の活動を支援する。			
健康安心防災		健康安心防災 ・2/29～4/29 脳の探求、最前線 ・3/30～4/30 感染症の対策あれこれ ・4/1～4/30 発達障害の理解を深める ・5/12～6/30 からだをつくる・ととのえる ・5/12～5/31 五月病かなと思ったら ・6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ ・6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 ・6/20～7/12 男女共同参画連携展示 ・7/1～8/8 いただきます! 8月4日は栄養の日 ・7/1～8/30 免疫力を高める ・8/10～8/30 いのちを守る 9月1日は防災の日	健 ・テーマが医療・健康情報に偏りがちである。	・展示を企画・担当する職員だけでなく、サービス担当全体で展示状況の確認や資料の補充を行っていく。 ・防災、福祉、スポーツ分野も意識して、展示テーマを選定する。			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		
③ 展示	展示内容	成果		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない) ・県民・市民への説明を意識して記入		
		課題				
	行政	・6/4～6/9 高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 ・6/26～11/27 こうちのohana満開プロジェクト(市農林水産課) ・8/14～9/2 森林率日本一の高知家で木と生きる(県森づくり推進課) ・1/13～9/30 男女共同参画図書企画展(市男女共同参画課)	行政	・展示の入れ替え作業の効率化	・展示入れ替え作業の効率化を図る。	
	児童	・4/24～6/30 物語の旅へ ・4/24～8/31 青少年読書感想文全国コンクール課題図書(小学生) ・7/1～8/31 なつやすみのヒント ・8/9～8/31 戦争と平和に関する本	児	・子育て関連のブックリストを新規作成していない。 ・子育て応援コーナーから各分野への誘導ができてない。	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行い、チラシ等を充実させる。 ・子育て関連のブックリストを作成する。 ・子育て応援コーナーから各分野への効果的な案内方法を検討する。	
	ティーンズ	・3/1～4/30 新生活 ・5/7～6/30 にじいろの本棚 ・7/1～8/30 謎解き図書館 ・7/14～8/12 部活本! ・8/13～9/13 なやみに効く本	テ イ	アイデア募集など、学生・生徒が直接携わる事で利用促進に繋がるような方法を模索中。	・本のテーマ展示の際に、より展示に関心をもってもらい、また本を手にとってもらえるよう、ティーンズ世代が思わず惹きつけられるような「お楽しみ」(ブラインドブック等)を取り入れていく	
	多文化	常設:姉妹都市展示 常設:高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展(ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22:JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30:ことば学び、世界をひろげる。日本での暮らしに困ったら編/あなたのすぐそばに、多文化。編 その他6/1/-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。	多	・常設の姉妹都市展示の更新が必要。	・常設の姉妹都市展示を改訂中。	
	バリアフリー	・3/25～4/10 春野高校生作布絵本 ～だれでも楽しめるバリアフリー図書～ ・8/1～ 常設 布絵本コーナー	バ	・布絵本コーナーのさらなる充実	・布絵本作成ボランティア活動の紹介と合わせて展示する	
④ 利用ガイド	資料を探す際に役立つブックリストやパスファインダーを作成し、館内や図書館ホームページ上で提供します。	高知資料	1 種	【成果】高	○ 以前より要望があり、探しづらかった郷土関係の紙芝居リストを作った。	—
		ビジネス	15 種	ビ	○ 8種類のブックリストを新規作成、既存のパスファインダー3種類の改訂を行った。	—
		健康安心防災	13 種	健	○ ブックリストは新たに3種類を作成、1種類を改訂した。 新規:「心の不調かな?と思ったら」「感染症」「免疫を高める」 改訂:「がん」 ・パスファインダーは3種類を改訂中、1種類を新規作成中。 新規作成中:「病気について」 改訂中:「がん」「認知症」「防災」「アルコール依存症」 ・実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会あり。	—
		行政	76 種	行政	○ ・若干の内容更新をすれば継続して活用可能な図書館活用ツール(土佐MBA本科ブックリスト)を新たに作成することができた。 ・労働関係専用のチラシ架を設けたことで、より多くの方にブックリストを活用していただける環境を構築できた。 県庁・市役所で直接業務に携わる職員のニーズが反映でき、双方納得いくものができた。また、日々の選書業務の参考にもなり、司書のスキルアップにもつながった。	—
		児童	21 種	児	○ ・今までに作成したブックリストをファイリングし、カウンターに常備して、レファレンスツールとして活用した。	—
		ティーンズ	4 種	テ イ	○ 夏休み期間中に部活がテーマの本とブックリストを展示することで、展示している本だけでなく、ブックリストも他のテーマ展示開催時よりも多く配布できた。(平均10部前後だが30部ほど配布実施。)	—
		多文化	8 種	多	○	—

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	
④ 利用ガイド				成果	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない) 県民・市民への説明を意識して記入
				課題	
		高知資料	0種	【課題】高 パスファインダーの作成が進んでいない。	
		ビジネス	3種	【課題】ビ ・ブックリストについて要望が多く、作成が追いつかない。 ・新たに作成した6種類のブックリストの当館ウェブ・サイトで公開がまだできていない。 ・パスファインダーの種類が少ない。	・連携機関の協力も得ながら、継続して取り組む。 ・それぞれの連携機関のバランスを考えつつ取り組む。 ・利用者からのニーズが高い内容を選定し、パスファインダーを作成する。 ・当館ウェブ・サイトに新規で作成したブックリストを公開する。
		健康安心防災	4種	【課題】健 提供中のパスファインダーの様式が分かりにくい。	・パスファインダーの様式を変更し、新規作成および改訂を行う。
		行政	12種	【課題】行政 ・ブックリストについて要望が多く、作成が追いつかない。 ・新たに作成した6種類のブックリストの当館ウェブ・サイトで公開がまだできていない。 ・パスファインダーの種類が少ない。	・連携機関の協力も得ながら、継続して取組を続ける。 ・それぞれの連携機関のバランスを考えつつ取り組む。 ・利用者からのニーズが高い内容を選定し、パスファインダーを作成する。 ・当館ウェブ・サイトに新規で作成したブックリストを公開する。
		児童	0種	【課題】児 ブックリストはウェブ・サイトには掲載したが配布までできていない。	・ブックリストを配布する。
		ティーンズ	2種	【課題】テ より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。	・ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。 ・ウェブサイトの「ティーンズコーナー」を活用し、中高生が速やかに情報にたどり着けるよう、パスファインダーへのリンクを掲載する。
		多文化	3種	【課題】多 ・「やさしい日本語」版が必要。	・やさしい日本語という視点で、児童やバリアフリーなど他サービスと重複する部分の調整をする。
の利 作用 成マ ニ 提ユ 供 アル	コンピュータによる図書館の蔵書目録(OPAC)やデータベース、インターネットの基本的な使い方について、目的や年代など、利用者をイメージしたマニュアルを作成し、提供します。			【成果】× なし 未着手	同左
				【課題】・業務繁忙のため、OPACの使い方マニュアル未完成。	同左
図 書 館 案 内 会 等 の 開 催	多くの方に図書館を知ってもらい利用していただくため、案内会や利用方法の説明会等を行います。	開催回数	3回	【成果】○ ・アンケート結果で、館内ツアーの感想は回答者全員が「良い」としていた。特に防災備蓄庫は5組中4組が良かったものとして挙げていた。 ・図書館活用ミニ講座は「ふつう」が1組で、他は好評価だった。	・データベースについては、図書館活用ミニ講座の座学の中で紹介する。座学での「ミニデータベース講習」を検討をする。 ・図書館活用ミニ講座は、参加者に応じて説明する部分の比重を変えるなど柔軟な説明を行い、それぞれの参加者に役立つ情報を提供する。
		参加者数	9人	【課題】・ミニデータベース講習が実施できていない。	
				・館内ツアーとセットの図書館活用ミニ講座を実施。 ・図書館活用ミニ講座受講者にアンケートを実施。 ・高知県立大学オーテピアンズ(ボランティア)の活動としていたが、コロナの影響で大学側の許可が下りず、職員が案内を実施している。 ・コロナ対策として、4～5月は中止、6月から定員5名で再開した(令和元年度定員10名)。 ・図書館活用ミニ講座は7月から再開。 ・図書館活用ミニ講座の中で、ミニデータベース講習を実施予定だったが、十分な間隔を取れないため、休止中。	
接 遇 研 修	利用者の方に満足していただけるよう、誠意のある心こもった窓口対応を行うため継続的に接遇研修を実施します。	実施日	4月24日	【成果】○ 開館年度から3年度続けて全職員が接遇研修を受講。 あいさつや名刺受け渡しなど社会人としての基本マナーや、ワンランク上の利用者への対応について学ぶことができた。	今年度はコロナの影響で中止となったが、アンガーマネジメントなど感情をコントロールしつつ、ストレスをため込まない方法に関する研修の開催を行う。(予算計上する)
⑤ 職員 研 修				【課題】多くの職員が業務に活かしていることと思うが、「職員の態度がなっていない」という利用者の声もちらほらみられる。	
				コロナ対策として、2回に分けて実施	

(2)高知県関係資料の収集・保存・提供

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
成果	課題					
① 収集	図書以外の資料の収集	現在、収集が十分でない図書以外の資料(地図、パンフレット、DVD等)について、収集や整理、提供の方法を検討したうえで、収集します。	【取組】チラシ・ポスターやパンフレット類等も収集を増やしている。県市担当で協議しながら書誌の作成を行っている。	【成果】○ 収集したものを整理し、図書館資料として利用者に提供することができた。	【課題】送付されてくるパンフレット類については収集できるが、それ以外のものを収集するのが困難	行政機関を含め民間団体等にも連絡をし、高知関係資料の収集につとめる。 利用者の声や、新聞等で報じられる出版情報にもアンテナを張り、寄贈依頼を積極的におこなうなどして資料の充実に努める。
	「高知ならではの」資料の収集	「よさこい祭り」など、高知に深く関わるテーマを、重点的に収集します。	【取組】関係者の協力をいただきながら、継続して県外よさこい資料の収集を進めている。あわせて高知新聞掲載の「よさこい」関係記事のスクラップもおこなっている。	【成果】△ 少しずつではあるが、よさこい関係資料(特に県外のよさこい系イベントに関する資料)が増えている。また、収集に協力いただいた方々を中心に、オーテピアでよさこい関係資料を集めていることが認知されつつある。	【課題】紙資料でない物の寄贈申し出等があった場合、収集するかどうか、また、収集した場合どのように整理・保存していくかが課題。 よさこい関係資料を収集していることがまだまだ知られていない。	紙資料以外の収集・整理基準を決める必要がある。 よさこい関係資料を収集していることをアピールする。具体的には、「よさこい」関連の講演会を企画し、その中でオーテピアでのよさこい資料収集のことも紹介する。
	高知県にとって必要な資料の収集	高知県にとって必要な資料が散逸しないように関係機関とつながりを持つなどして、貴重な資料を収集します。	【取組】こうちミュージアムネットワーク会員館として、同ネットワークが取り組んでいる県内資料の散逸を防ぐ取り組みに参加し、県内資料の状況について情報共有している。	【成果】△ 他館から寄贈等の紹介があった場合、検討し資料の収集を行っている。施設・機関の蔵書状況だけでなく、県内の個人所有の資料についての情報も共有することができ、特に個人が資料の取り扱いに苦慮している実態について理解が深まった。	【課題】資料の散逸を懸念する個人の方からの申し出(個人では管理ができないので引き取って欲しいなど)に、対応できるだけのスペースやマンパワーがない。	収集したものは適宜整理していくようにする。 資料の保管場所の問題は、当館だけの問題ではない。こうちミュージアムネットワークでは、廃校等の利活用についても課題として検討しており、会員館として積極的に議論に参加し、情報収集と共有に努める。
行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しても図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】(市)年度初めに各課へ寄贈依頼を発信。 (県)年度初めの全庁メールによる県庁各課および出先機関への寄贈呼びかけに加え、今年度は初の試みとして、8月の県庁執務環境整理月間に合わせて再度全庁へのメール発信をおこなった。 (県)県内市町村および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。	【成果】○ (県)8月に県庁各課に発信した寄贈依頼メールには、これまで反応のなかった課からの問い合わせがあり、行政資料の充実につながった。	【課題】各市町村から、継続して寄贈されない(担当者が代わり引き継がれていない)こともある。 県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	引き続き年に1～2度、寄贈依頼を発信する。 検討する材料として、まずは県の行政資料について、県庁ウェブサイトで公開されている行政資料を把握し、当館での所蔵の有無、紙資料を作成しているかの確認をおこなう。検討にあたっては、県立公文書館とも意見交換する。	
② 保存	貴重資料の保存環境の向上	貴重資料を貴重書庫で保存し、保存環境の向上を図ります。	【取組】前年度同様、定期的な貴重書庫の清掃と害虫トラップ設置、温湿度計測器の設置をおこない、貴重書庫内の適切な資料保管環境の維持につとめている。 (市)出納作業をより円滑に行うために、貴重書庫内の文庫(資料群)を50音順に並べ替える作業を行っている。	【成果】○ (市)貴重書庫内の文庫(資料群)を50音順に並べ替えたことで、出納作業をより円滑に行うことができるようになった。 光に弱い錦絵を専用のタンスへ入れ替えたことで保存環境が改善した。	【課題】特に問題は発生していない。	引き続き貴重書庫の環境管理を行い、県市で情報共有を行う。
	歴史的資料のデジタル化	優先度に従って、順次、歴史的資料のデジタル化を行い、原資料の良好な保存と手軽に利用ができるようにします。	【取組】(市)職員による資料撮影を計画的に進めている。 近森文庫2,312点、中城文庫438点の資料撮影を行った。平尾文庫10,088点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした。 (県)2020年度は田岡文庫収蔵資料を中心に43点の資料をデジタル化する計画で進めている。9月中旬に入札を行い、同月末～10月初旬から作業に入る予定。	【成果】○ (市)近森文庫2,312点、中城文庫438点の資料撮影を行った。平尾文庫10,088点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした。 (県)2020年度は田岡文庫収蔵資料を中心に43点の資料をデジタル化する計画で進めている。	【課題】(市)現在はデータベースの内容充実を図ることに重点を置いていたが、古文書の翻刻文がデータベースに載せきれない(土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本)。 (県)撮影資料の返却や納品などに関して、新型コロナウイルス感染症の動向には注意する必要がある。	(市)紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料(土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本)をデジタル化することで、データベースに載せきれない情報が検索・利用できるようなしくみ作りを検討 (県)9月中に入札を実施し、撮影作業に移る。作業は、新型コロナウイルス感染症の動向にも注意しながら進める。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	
				成果	課題	
資料の提供	高知県関係資料コーナー及び専用のカウンターにおいて、資料を提供するとともに、司書がレファレンスに対応します。	受付	事項	900 件	【成果】○ コロナによる休館を挟みながらも、レファレンス受付は前年同期比で33%増加した。 郵送複写は非来館型であるので、コロナの影響を受けず、前年同期比で件数2倍、枚数は4倍に増加した。 【課題】レファレンスがたまり始めると、回答までの時間が伸びたり遅れたりした。職員の配置により4月から1名変更があった。特に引継ぎなどは発生しなかったが、職員のスキルアップ資料が不足しており、十分な教育を行えなかった。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
			所蔵	3,500 件		
		郵送複写		40 件		
				1,200 枚		
③提供	デジタル化された歴史的資料の提供	商品のパッケージ・デザインといった活用等の要望があった場合、データを提供します。	(市)データ提供を随時行っている。 (県)データ提供は随時行っている。		【成果】○ (市) 閲覧11件、撮影19件、掲載16件(うち商用利用1件)、放映4件、貸出4件(利用例)掲載 ・読売新聞高知県版7月11日「ニュースの門@高知 スイーツのヒミツ・夏編」で寺田正写真文庫51A-5-1「アイスクリーム屋(桂浜)」が掲載された。 ・高知市立自由民権記念館開館30周年記念として制作・販売されるクリアファイルに、近森文庫180「湘烟日記」(岸田俊子肖像)が採用された。 放映 ・NHK BSプレミアム「英雄たちの選択 板垣退助」放映のため、松野尾家資料 追加81「(仮)影神帖 二編」掲載の「立志社風景写真」が使用された。 (県) 高知新聞にて、データ提供についてPRを実施した。また、ニュース番組での使用等の事例があった。 【課題】(市) 将来、貴重資料の商用利用の拡大を図ることに力を入れるべきか。どんなことが利用者から求められているのかを精査する必要がある。 (県) Web上で卷子等の大型資料の画像をダウンロードする際に画質が著しく低下してしまう。	レファレンスの回答期限について決裁期間を含め逆算し注意する。 職員の配置転換にも対応できるよう、高知資料内のスキルアップ用資料を作成する。 郵送複写については、引き続き対応を続ける。
	デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開	利用の要望が多い歴史的資料については、ウェブ・サイトでの公開を進めます。	県市両館の事業として、利用者の利便性向上のため、Musethequeシステムの再構築をはかっている。 (市)公開した内容のブラッシュアップを実施。各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。 (県)2019年度に作成した23点の資料画像について、公開に向けて準備作業中である。また、そのうちの3点の資料について、翻刻文を作成したので、これも上記と併せて公開するために準備中である。 このほか、2014年度に作成した「行宗文書」および「才谷屋文書」のデジタル画像についてもデジタル・ギャラリーで公開する予定である。 Musethequeに登録する目録データについては、昨年度から継続して田岡典夫文庫(全45箱)の分を作成中であり、R2年4月以降、12箱～17箱(資料総数1919点)の作業を終えている。		【成果】○ (市) 分類項目の更新により、資料の抽出がしやすくなった。 各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。 (県) 左記の画像23点については業者にデータを提供済。 【課題】(市) 資料分類をできるだけの知識が職員によってまちまちなため、作業が偏りがちである。 (県) 公開している画像数が増えてきたため、資料の検索が煩雑になりつつある。	(市) 令和元年度にも行ったが、貴重資料は研究だけではなく、グッズの開発や地域おこしの材料となることを周知する取組(まちゼミでのワークショップ開催など)を検討する。 (県) デジタル画像のPRと、コンテンツの充実を目指す。任意のファイルサイズで画像をダウンロードできるように、デジタル・ギャラリーの改修を行う予定。
資料の展示	実物資料や解説パネルを中心に資料展示室で展示を行い、貴重な資料を閲覧できるようにします。	【取組】 県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。 ①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ③中城文庫展(7/21～9/22)		【成果】△ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 (入室者数) ①昭和の博覧会と肖像写真 942人(会期60日) ②濱口雄幸と野村茂久馬 617人(会期54日) ③中城文庫展 613人(会期35日) ※8/31時点 【課題】コロナ禍の影響などにより、利用者数が減少傾向	9月以降の展示予定 ①三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27) ②装いと粧い-眠りから覚めた 愛おしみもたち-(1/9～4/18) 今後は展示についての広報活動を積極的に展開し、より広範囲に情報を発信する。また、将来的に常設展示をおこなうことを考慮し、その内容を検討する。	
レファレンス回答結果の提供	高知県に関係する質問への回答(図書等を使って行った回答)を当館のホームページやレファレンス協同データベースに登録し、閲覧できるようにします。	2018年度については粗方自館登録済み。随時、公開について行っていく予定。		【成果】× なし 一般公開まではまだ取り付けていない。 【課題】様式が定まっていない。	前回の課題同様、登録から公開までスピーディに取り組める環境や様式を作成する。	

(1)レファレンス・サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)			令和2年度			
			令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
① 資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	調べものにも対応できるように、一般図書は国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します(再掲)。	【再掲】のため、以下の項参照 「1 地域を支える情報拠点機能の充実 (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)1/3 資料 利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します。」	【成果】 【課題】		
② 利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	資料を探す際に役立つブックリストやパスファインダーを作成し、館内や図書館ホームページ上で提供します(再掲)。	【再掲】のため、以下の項参照 「1 地域を支える情報拠点機能の充実 (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)3/3 展示さまざまなテーマによる企画展示の実施高知ならではのテーマ、ビジネスや健康など課題解決に役立つテーマ、時事や季節に合わせたテーマ	【成果】 【課題】		
	レファレンス事例の公開	図書館に来館しなくても、インターネットを通じて課題を解決できるように当館のホームページや「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を登録します。特に、高知県関係については積極的に公開します。	公開できていない。	【成果】 × 【課題】 レファレンス協同データベースへの自館のみの登録は行っているが、一般公開までできていない。一般公開向けの文言や様式など、マニュアルができていない。	公開に係るマニュアルの整備を進める。	
	ホームページ等によるレファレンスの受付	より気軽に質問等していただけるように、来館や電話、FAX、メール、郵便での受付に加え、当館のホームページにレファレンス専用フォームを設け、受け付けます。	レファレンス専用フォームからのものをはじめとして、多くのレファレンスがある。	【成果】 ○ 【課題】 コロナウィルスによる往來の自粛等もあり、ホームページからの申し込みが昨年と比べると多くなった。また全体的にFAXや郵送による申し込みも増えている。レファレンスの申し込みが増えたこと、また配置転換のあった部門では回答が予定より遅れているケースが見られる。	回答の期限は1週間を目安にしているが、レファレンスの申し込み数を見ながら適宜調整していく。	
③ 連携	専門機関や団体等の紹介	相談内容に応じて、他の図書館への問合せをしたり、専門機関等の相談窓口を紹介し、その後も各機関と連携を図りながら、支援します。	ビジネス:実績6件	【成果】 △ 【課題】 県内の公的な専門機関については概ね把握が進んでいる。相談内容に応じて専門機関を紹介している。 図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める。	専門機関への訪問時や、専門機関向けの図書館活用講座において、レフェラル・サービスの説明と連携への協力依頼を継続して行う。	
〃	〃	〃	健康安心防災:実績なし	【成果】 △ 【課題】 ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、相談窓口、専門機関等を紹介できた。 ・図書館がレフェラルサービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める必要がある。	・福祉分野での関係づくり強化に取り組む。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
成果	課題				
④ P R	レファレンス・サービスのPR	当館のホームページ、ブログやフェイスブックなどのSNS、チラシ配布、ポスター掲示、出前図書館等により、積極的にPRします。	ウェブサイトを始め、出前図書館などでも積極的にPRしている。	【成果】 △ コロナの影響で多少減っているが、通常ベースなら年間目標を達成する程度利用されている。 【課題】 サービス自体を知らない利用者もまだいると思われる。	引き続きさまざまな手法でPRを進める。今後は学校見学の機会に小中学生にもわかりやすい方法でサービスを周知する。
	接遇力の向上	コミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的に実施します。	4/24 本年度の接遇研修を実施(密を防ぐため2回に分けて実施)。	【成果】 ○ 新館開館以降、3年続けて職員が繰り返し受講したことにより、年々意識が高まっている。 【課題】 職員の接遇に関する利用者からの意見(苦情的なもの)は皆無ではない。	今後も研修機会を確保し繰り返し受講することで能力向上に努める。利用者からの意見の内容に加え、どう対応すべきかという点について職員間で共有する。
⑤ 職 員 研 修	調査能力の向上	レファレンス事例の共有、定期的な勉強会の実施、外部研修への参加等により、専門性を高めて調査能力の向上に努めます。	レファレンス事例は館内で随時共有している。新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止になったが、各自でオンライン研修を視聴するなどした。	【成果】 ○ 専門性の向上につながった。 【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。	9月以降開催予定の研修については、リモート参加のものも含め参加していく。感染予防に留意しつつ、今後も個人や組織としてオンライン講座などの機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。
	レファレンス事例の共有、定期的な勉強会の実施、外部研修への参加等により、専門性を高めて調査能力の向上に努めます。	レファレンス事例は館内で随時共有している。新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止になったが、各自でオンライン研修を視聴するなどした。	レファレンス事例は館内で随時共有している。新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止になったが、各自でオンライン研修を視聴するなどした。	レファレンス事例は館内で随時共有している。新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止になったが、各自でオンライン研修を視聴するなどした。	レファレンス事例は館内で随時共有している。新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止になったが、各自でオンライン研修を視聴するなどした。

(2) 課題解決支援サービス

① ビジネス・農業・産業支援サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度										
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降								
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)								
				成果	課題	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)						
① 資料	<p>図書館の収集・提供</p> <p>ビジネス支援機関とも協力しながら、第一次産業から第三次産業までの事業やサービスについての図書を集集し、ビジネス・農業・産業支援スペースにおいて提供します。 特に、観光や流通、コンテンツ・ビジネス、農業(技術書等)、食品加工等、高知県の課題となっている分野の資料、資格取得や就業、商店や商店街に役立つ資料については、重点的に収集し、提供します。また、さまざまな事情で離職・休職中の方の社会復帰や定年退職者へのシニアビジネスを支援する資料についても収集し、提供します。</p>	<p>臨時休館期間中は、複本や旧版資料等の書庫入れ、書架の揺り動かしを重点的に行った。 ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。</p>	<p>【成果】 ○ 臨時休館期間中、重点的に書架の手入れができたため、利用者にとって、より利用しやすくなった。</p> <p>【課題】 参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多い。</p>	<p>・引き続き、利用者にとって利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。 ・参考図書コーナーであることをわかりやすく知らせるような工夫を検討する。</p>								
	<p>雑誌・新聞の収集・提供</p> <p>専門的なものも含め、雑誌や新聞等を収集し、提供します。</p>	<p>利用者から要望のあった雑誌やレファレンスの際に必要と感じた雑誌の購入や、寄贈される雑誌の選書を行った。利用の少ない雑誌について他担当と合同で紹介展示を行った。</p>	<p>【成果】 ○ 利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができています。</p> <p>【課題】 新聞の所蔵状況や雑誌の配架場所を変更した際の周知が不足している。</p>	<p>・新聞の所蔵状況の周知および配架場所変更時の利用者への周知方法を検討し、さらなる利用の促進につなげていく。</p>								
	<p>データベースの導入・提供</p> <p>新聞記事や法情報、農業情報、商圏分析、企業情報、市場動向等を調査可能なデータベースを導入し、提供します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>データベース利用件数</td> <td>高知新聞</td> <td>297</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>513</td> <td>件</td> </tr> </table> <p>・4/1 日本マーケットシェア事典、日本農業新聞データベースサービスを導入 ・聞蔵Ⅱビジュアルにおいて地域面も閲覧可能な契約に変更した。 ・館内ツアーとセットで開催していた「ミニデータベース講習」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、現在は休止している。</p>	データベース利用件数	高知新聞	297	件		その他	513	件	<p>【成果】 ○ ・新たに2つのデータベースを導入した。また、既存のデータベースについても、新たなコンテンツを使用できるようにするなど、利便性が向上した。 ・紙資料の『マーケットシェア事典』は昨年度まで複写を認められていなかったが、4/1にマーケットシェア事典オンラインを導入したことで紙資料も今年度分から著作権の範囲内で複写が可能になり、利用者の利便性が向上した。</p> <p>【課題】 ・高知新聞以外のデータベースの利用頻度を上げる必要がある。 ・今年度導入した2つのデータベースについて広く周知する必要がある。特に、日本農業新聞データベースの利用が伸びていない。</p>	<p>・各データベースの特徴や検索の仕方、活用の方法等が分かるように、少人数制のデータベース講習会の開催を検討している(講師は職員)。 ・外部講師に依頼して行うデータベース講習会の開催を検討している。</p>
データベース利用件数	高知新聞	297	件									
	その他	513	件									
	<p>チラシやパンフレットなどの収集・提供</p> <p>図書や雑誌、新聞、データベースでは得られない情報を中心に、各種ビジネスに関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。</p>	<p>市役所や県庁、連携機関へ随時、チラシ・パンフレットの寄贈を依頼を継続。県庁・市役所職員向けのメルマガ(vol.17)で行政資料収集についてのPRも行った。また、8月の県の執務環境改善強化月間にあわせて行政資料寄贈の依頼を行った。</p>	<p>【成果】 △ これまで反応のなかった課から問い合わせがあり、行政資料の充実につながった。</p> <p>【課題】 各団体のペーパーレス化に伴い、これまで当館へ寄贈されていた紙資料の送付/受け入れが止まっているものがある。</p>	<p>・今後も引き続き県庁や市役所職員、関係団体に向けて寄贈依頼の広報やPRを行っていく。</p>								

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度					【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日							令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)							成果
視聴覚資料の収集・提供	ビジネスや農業に役立つ動画等の視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年4月から8月に受け入れたビジネス関連の新規DVDは8タイトル。 ・2020年4月から8月の放送大学AV資料の利用件数は13件。 ・放送大学からの寄贈CD・DVDが現時点で2,099件所蔵あり。 ・放送大学側から提案のあったインターネットによる講義配信サービスの提供切り替えの実施について検討中。 					【成果】 ○ 継続して放送大学の利用がある。 【課題】 ・ビジネス支援担当者間での定期的な選定機会の設定。	・視聴覚担当と協議しつつ、ビジネス関連の視聴覚資料を収集し、利用の促進に努める。	
② 利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供 文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト(総合計)	9(15)	種	【成果】 ○ ・若干の内容更新をすれば継続して活用可能な図書館活用ツール(土佐MBA本科ブックリスト)を新たに作成することができた。 ・労働関係専用のチャシ架を設けたことで、より多くの方にブックリストを活用していただける環境を構築できた。 ・県庁・市役所で直接業務に携わる職員のニーズが反映でき、双方納得いくものができた。また、日々の選書業務の参考にもなり、司書のスキルアップにもつながった。 【課題】 ・ブックリストについて要望が多く、作成が追いつかない。 ・新た作成した6種類のブックリストの当館ウェブ・サイトで公開がまだできていない。 ・パスファインダーの種類が少ない。	・連携機関の協力も得ながら、継続して取り組む。 ・それぞれの連携機関のバランスを考えつつ取り組む。 ・利用者からのニーズが高い内容を選定し、パスファインダーを作成する。 ・当館ウェブ・サイトに新規で作成したブックリストを公開する。			
		パスファインダー(総合計)	3(3)	種			・高知県労働委員会事務局や高知県産学官民連携センター(土佐MBA本科)などと連携し、よりニーズに応じたブックリストを作成した。 ・労働関係の書架付近に、労働関係ブックリストを配架するチャシ架を新たに設置した。		
③ レファレンス	レファレンス・サービス ビジネス・農業・産業支援スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	221	件	【成果】 △ クラウド(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。 【課題】 レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールを整理中(レファレンス担当)のため公開が遅れている。	・レファレンス担当者間で記載ルールを整理した後、速やかに事例を登録・公開していく。			
		所蔵	554	件			図書館PRを実施した連携団体や参加者からのレファレンスがあり、随時対応している。		
課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	図書館の資料と情報だけでは、解決が難しい課題については、専門機関や団体等を紹介するレフェラル・サービスを実施します。その後も各機関と連携を図りながら、課題の解決に向けて支援します。	レフェラル件数	ビジネス(年合計)	6(6)	件	【成果】 △ 県内の公的な専門機関については概ね把握が進んでいる。相談内容に応じて専門機関を紹介している。 【課題】 図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める。	専門機関への訪問時や、専門機関向けの図書館活用講座において、レフェラル・サービスの説明と連携への協力依頼を継続して行う。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度					
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降			
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		
		成果	課題				
④ 連携	他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	専門機関等と連携し、相談会等を開催します。	毎週〇曜日 〇〇相談会	1回実施	【成果】 △ 若者進路相談会を実施し、2名の相談があった。	【課題】 相談会は、換気のためドアを開放して行っており、プライバシーの確保が難しい。 ・三井住友海上など他機関と連携したセミナーやイベントを企画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため断念したり、年度後半に開催日を改めざるを得ない状況。	・感染防止策とプライバシーの確保の両立を図りながら、相談会を開催していく。 ・セミナーやイベントは、連携先と当館の双方で安全に開催できることが前提となる。体験型のイベントなどはオンラインでの開催も適当とはいえない。よって、事業ごとに最善の方法を模索していく。
	商品の価値を高めるための図書館資料の提供	図書館の歴史的資料等、幅広い図書館資料を活用し、商品の付加価値を高め、ブランド化、コトづくりを支援します	・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめのデジタル化資料を随時紹介している。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込むよう調整中。		【成果】 △ 6月に商用目的(販売製品への使用)での利用が1件あり(クリアファイル)。	【課題】 貴重資料データの商用利用(販売製品への使用)の申請は少ない状況である。	・今後も、高知資料担当と協力し、貴重資料の商用利用について継続してPRしていく。 ・商用利用のPR方法を検討する。
⑤ 情報リテラシー	広報支援	施設の使用基準に基づき、館内での県内企業の製品展示を実施し、企業・団体の活動を支援します。	・高知の企業が続々開発！新型コロナウイルス対策グッズ展(5/12～6/14 共同楽習スペース) ・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 :県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・放送大学で人生を愉しむ力を:放送大学と連携し、放送大学テキスト等を展示(7/1～8/8 3階展示の本棚) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の〇〇」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。		【成果】 ○ ・展示を通じて各機関の広報支援に貢献できている。新型コロナ対策製品展示では、県内企業の新型コロナ対策への取組を紹介し、テレビ、新聞を通じて来館者以外へのアピールができたほか、高知県防災関連認定製品に認定されるなど、展示をきっかけとして販路拡大につながった製品もあった。	【課題】 ・サービス業やスケールの大きな製品など、館内で実物の展示ができない業種についても、展示を通じた支援の形を考える必要がある。(再掲)	・製品展示に限らず、パネル展示と組み合わせ、企業・団体の活動を支援する。(再掲)
	図書館活用講座の実施	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。	・館内ツアーとセットで開催していた「ミニデータベース講習」は、コロナウイルス対策のため、現在は休止している。 ・起業・経営に携わる方向けの図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」の実施を計画。今年度は、回数を2回に増やし、1/29と1/30に開催予定。		【成果】 ○ コロナの影響で、ミニデータベース講習会は開催できていないが、その他の講座については、順調に計画が進んでいる。	【課題】 ビジネス支援という観点からも、仕事をしても参加しやすい日時に講座を開催したり、同じ講座を複数回実施するなどの工夫が必要。	・図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」は、実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やし、参加しやすいよう工夫する。 ・データベースごとの特徴や活用の方法が分かるように、少人数制のデータベース講習会の開催を検討している。(講師は職員) ・外部講師に依頼して行うデータベース講習会の開催を検討している。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		成果	課題		
⑥ アウトリーチ	出前図書館	ビジネスセミナーやイベントなどに沿った資料やデータベースを会場に持ち参り、その場で資料の貸出しや資料相談を行います。	出前図書館 2 回実施	【成果】 △ 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。
	アウトリーチ・サービスの実施	出前図書館のほか、外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。	・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【課題】 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	
⑦ PR	図書館活用事例の広報	図書館で得た情報がビジネスに役立つ事例を募集し、マンガ等により提供します。		【成果】 △ 順調に取組中。 【課題】 特殊事例と捉えられないように、多種類のマンガ化事例を作成していく必要がある。	・令和2年度末までに、まずは1作品を完成させる。 ・R3年度予算計上:図書館活用事例のマンガ制作委託料、印刷製本費
⑧ 職員研修	司書の専門性の向上	県外研修や専門機関が開催する講演会やセミナー等に積極的に参加し、司書の専門性の向上を図ります。	・「おためしMBA」オンライン体験講座を視聴するなど各自が自主的に自己研鑽に取り組んでいる。	【成果】 △ 各自で自主的に自己研鑽に取り組んでいる。 【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。	感染予防に留意しつつ、今後も個人や組織としてオンライン講座などの機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。

(2)課題解決支援サービス

②健康・安心・防災情報サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度		
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		成果		
		課題		
①資料	図書の収集・提供 健康や社会保障、社会福祉、防犯、事故、防災等について、一般向け図書のほか、データベースなどの調べものや、資格取得に役立つ図書を収集し、健康・安心・防災情報スペースにおいて提供します。 また、病気やケガなどで離職・休職の方のリハビリや食事、職場復帰等の資料についても積極的に収集し、提供します。	・利用の多い資料は、参考図書として複本を購入した。 ・ニーズの多い看護関係資料について、積極的に購入した。 ・新型コロナウイルス関係の書籍を購入した。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を参考図書として複数所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。 ・感染症に関する資料の問合せ、ニーズに対応できた。 【課題】 ・引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、利用者のニーズに合った資料の収集に努める。
	雑誌・新聞の収集・提供 専門的なものも含め、雑誌や新聞等を収集し、提供します(再掲)。	・高知新聞掲載の防災関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・高知新聞掲載の新型コロナウイルス関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・利用の少ない雑誌の利用数増加を目的に、ビジネス支援サービス担当と多文化サービス担当と共同で展示を実施し、雑誌の存在についてアピールした。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス関係記事を閲覧・複写する利用者が複数名いた。 ・全く貸出しがなかった雑誌が認知され、雑誌の貸出回数増につながった。 【課題】 ・新聞切り抜き掲示を当日中に行えない場合がある。	・新聞切り抜き作業を日常の定型業務にできないか、業務の流れを見直し検討する。
	チラシやパンフレットなどの収集・提供 図書や雑誌、新聞、データベースなどでは得られない情報を中心に、健康・安心・防災情報に関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。	・フロア内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布中。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。	【成果】 ○ ・複数のチラシやパンフレットをまとめて置くことで、利用者幅広い情報提供ができています。 【課題】 ・防災関係など作成・配布元が同じチラシを多種類まとめて置いてあるが、在庫管理が煩雑である(内容によって捌け具合が異なるため、同じ配布元であっても、補充依頼を都度行わなければならない)。	・配布物の管理を、配布元自らに行ってもらえるような仕組みづくりを検討していく。
	視聴覚資料の収集・提供 暮らしの中でのさまざまな課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	・DVD約60点を移動することで展示の充実を図った。 ・防災関係図書の書架に、関連DVDへの誘導サインを掲示した。	【成果】 △ ・健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめ、誘導することで、利便性が向上した。 【課題】 ・利用状況の把握が難しい。	・その分野に興味・関心を持っている利用者に対してアピールするため、視聴覚資料への誘導サインを防災以外の分野でも作成する。あわせて他のPR方法を検討する。 ・DVDリストを作成し関連する書架に配置した後、リスト掲載DVDの貸出状況を把握する。
	データベースの導入・提供 医学文献情報や新聞記事等のデータベースを導入し、提供します。	・データベース会社から講師を招致し、ミニ講座形式での実施を計画中。	【成果】 △ データベースで検索した結果をレファレンスに活用している。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。	・9月以降に医中誌Web取扱代理店などから講師を招致し、ミニ講座形式で実施予定。
②展示	健康・安心・防災情報スペースをはじめとするさまざまな資料を使って、社会の関心を意識した企画展示を実施します。	・2/29～4/29 脳の探求、最前線 ・3/30～4/30 感染症の対策あれこれ ・4/1～4/30 発達障害の理解を深める ・5/12～6/30 からだをつくる・ととのえる ・5/12～5/31 五月病かなと思ったら ・6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ ・6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 ・6/20～7/12 男女共同参画連携展示 ・7/1～8/8 いただきます! 8月4日は栄養の日 ・7/1～8/30 免疫力を高める ・8/10～8/30 いのちを、守る 9月1日は防災の日	【成果】 ○ ・時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらった。(11回実施) ・「一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展」など、普段貸出のない資料も展示をとおして貸出回数が伸びている。 【課題】 ・テーマが医療・健康情報に偏りがちである。(再掲)	・展示を企画・担当する職員だけでなく、サービス担当全体で展示状況の確認や資料の補充を行っていく。(再掲) ・防災、福祉、スポーツ分野も意識して、展示テーマを選定する。(再掲)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		
		成果				
		課題				
③ 利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト	13 種	【成果】 △ ・ブックリストは新たに3種類を作成、1種類を改訂した。 新規:「心の不調かな?と思ったら」「感染症」「免疫を高める」 改訂:「がん」 ・パスファインダーは1種類を新規作成中、4種類を改訂中。 新規作成中:「病気について」 改訂中:「がん」「認知症」「防災」「アルコール依存症」 ・実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会あり。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		パスファインダー	4 種	【課題】 ・提供中のパスファインダーの様式がわかりにくいため、様式の修正が必要。		
④ レファレンス	レファレンス・サービス	健康・安心・防災情報スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	237 件	【成果】 △ ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・クラウド(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	・レファレンス担当者間で記載ルールを整理した後、速やかに事例を登録・公開していく。
		所蔵	328 件	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールを整理中(レファレンス担当)のため公開が遅れている。		
	課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	図書館の資料・情報だけでは解決が難しい場合には、専門機関や団体等を紹介するなどして、課題の解決を支援します。	レフェラル	数 件	【成果】 △ ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、相談窓口、専門機関等を紹介できた。	・福祉分野での関係づくり強化に取り組む。
				【課題】 ・図書館がレフェラルサービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める必要がある。		
⑤ 連携	他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	専門機関等と連携し、相談会等を開催します。	・【中止】【共催】転倒による骨折を防ぐリハビリ体験(4/12)(第2回) ・6/28【中止】【連携】世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 記念映画上映会 ・8/4高知医療センターへ図書館サービスの周知および今後の連携について訪問 ・8/8～8/30【連携】パネル展示「がん患者さんの感じるコロナウイルスへの不安について」実施(知事来訪)		【成果】 ○ ・連携によって専門的な情報の提供ができた。そのためパネル展示を見に来館される利用者が多かった。 ・パネル展示を見たことにより、実際の相談につながったとの報告があった。	・9月毎週土曜日「がん相談会2020」開催予定。 【共催:高知大学医学部附属病院、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知産業保健総合支援センター】 ・10/25「第58回地域医療連携研修会」開催予定。 【共催:高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催予定。 【共催:土佐リハビリテーションカレッジ】
	広報支援	健康・医療等に関する機関等が実施している関連イベントやセミナーの情報を集約した一覧を作成し、館内掲示や図書館ホームページなどで情報提供を行います。	館内でチラシ・パンフレットの配布等を行い、イベント等を周知している。	【成果】 △ ・イベントを実施する際、チラシを置いて欲しいと連絡をくれる関係機関もあった。	【課題】 ・情報の集約方法の確立。ただし、着手した場合、本来業務への支障が懸念される。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)			
			成果	課題	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない)	
⑥ 情報リテラシー	図書館活用講座の実施 図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。	1～3月の講習会開催に向けて、方法や内容を検討中		【成果】 × なし 【課題】 ・新しい生活様式での講座開催を検討する必要がある。	・他サービスが実施する研修との均衡を図り、実施に向けた具体的な計画を作成する。 ・連携イベント開催時、図書館活用をアピールする。 10/25「第58回地域医療連携研修会」開催予定。 11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催予定。	
⑦ アウトリーチ	出前図書館 図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。	出前図書館	0 回実施	【成果】 × なし ・「いきいき健康チャレンジ」(高知市健康増進課主催)など、例年出前図書館を実施していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、4～8月は実施に至らなかった。 【課題】 ・出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	依頼のあった以下のイベントに出前図書館で参加予定。 ・10/25 【共催・館内】第58回地域医療連携研修会 ・11/21 発達障害者就労支援セミナー ・2/10 発達障害に関するセミナー	
	アウトリーチ・サービスの実施 出前図書館のほか、外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。			【成果】 △ ・行政職員向けの階層別研修(行政支援サービスに掲載)など全体的な図書館活用の研修の実施に加え、従前からの課題であった専門機関へのアプローチを強化すべく、連携に向けた協議を行った。広報面での連携、専門機関関係者の図書館活用につながった。 【課題】 ・図書館活用講座や研修は非対面型にシフトしていく必要がある。	・図書館活用講座や研修は、館内実施がより効果的と判断される場合を除き、オンライン、録画配信などの方法での実施を提案する。 ・連携のための協議は、対面で行う意義を精査した上で、感染防止対策を講じて行う。	
職員研修	司書の専門性の向上 専門図書館向けの研修にも参加するほか、専門機関が開催する講演やセミナー等に積極的に参加し、司書の専門性の向上を図ります。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修やイベント自体の中止が多く、参加を見合わせた。		【成果】 × なし 【課題】 ・研修自体の開催が見送られている。	・9/5開催予定「防災講演会in高知」参加予定。 (高知県工業振興課主催、高知市総合あんしんセンターにて) ・11月20日の休館日(第3金曜日)に職員向けの健康安心防災研修を実施予定。(内容:認知症サポーター養成講座を検討中)	
行事	※追加項目 「いきいき音読倶楽部」関連をこちらに集めました。	開催日	行事名	参加者数	【成果】 ○ ・この倶楽部に参加して実際に音読を経験することで、音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものであると認識していただけた。 【課題】 ・高齢者を中心とした集合型イベントであるため、今後の実施形態について検討の必要がある。	・今後は、9/16、11/18、1/20、3/17に実施予定。 ・利用者が安心して参加できるような実施形態を検討しながら、イベントを実施していく。
		7/15	いきいき音読倶楽部	8		
		・いきいき音読倶楽部は、隔月(奇数月)で開催。会場内で、関連図書の展示・貸出しも行っている。 ・5月は中止。(広報前) ・7月は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて行い、8人の参加があった。そのうち4人は初参加だった。				

(3)情報リテラシー向上支援サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度		
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		成果	課題	
①講座等	図書館活用講座の実施 図書館の活用法や、図書館の蔵書検索、ウェブ・サイト、データベースなどの情報検索、情報収集、活用技術、個人情報の管理の仕方、著作権に関する知識等を習得するための講座を開催します。特に、就職に関連する情報の収集方法等、セーフティネットとして図書館を活用する方法等も説明します。			
図書館活用講座の実施 図書館活用ミニ講座について	—	【図書館活用ミニ講座】参加者:2回 計7名 ・館内ツアーに合わせて実施。 ・受講者にアンケートを実施。 ・コロナ対策として、4～6月は中止、7月から定員5名で再開した(令和元年度定員10名)。 ・図書館活用ミニ講座の中で、ミニデータベース講習を実施予定だったが、十分な間隔を取れないため、休止中。	【成果】 ○ 【図書館活用ミニ講座】 ・アンケート結果では、図書館活用ミニ講座は「ふつう」が1組で、他は好評価だった。 ・今後利用したいサービスとして「レファレンス」を半数以上の方があげていた。 【課題】 【図書館活用ミニ講座】 ・ミニデータベース講習が実施できていない。	【図書館活用ミニ講座】 ・図書館活用ミニ講座は、参加者に応じて説明する部分の比重を変えるなど柔軟な説明を行い、それぞれの参加者に役立つ情報を提供する。 ・データベースについては、図書館活用ミニ講座の座学の中で紹介する。座学での「ミニデータベース講習」を検討をする。
図書館活用講座の実施 【再掲】ビジネス	再掲(図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。)	・館内ツアーとセットで開催していた「ミニデータベース講習」は、コロナウイルス対策のため、現在は休止している。 ・起業・経営に携わる方向けの図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」の実施を計画。今年度は、回数を2回に増やし、1/29と1/30に開催予定。	【成果】 △ コロナの影響で、ミニデータベース講習会は開催できていないが、その他の講座については、順調に計画が進んでいる。 【課題】 ビジネス支援という観点からも、仕事をしていても参加しやすい日時に講座を開催したり、同じ講座を複数回実施するなどの工夫が必要。	・図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」は、実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やし、参加しやすいよう工夫する。 ・データベースごとの特徴や活用の方法が分かるように、少人数制のデータベース講習会の開催を検討している。(講師は職員) ・外部講師に依頼して行うデータベース講習会の開催を検討している。
図書館活用講座の実施 【再掲】健康安心防災	再掲(図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。)	・1～3月の講習会開催に向けて、方法や内容を検討中	【成果】 × なし 【課題】 ・新しい生活様式での講座開催を検討する必要がある。	・他サービスが実施する研修との均衡を図り、実施に向けた具体的な計画を作成する。 ・連携イベント開催時、図書館活用をアピールする。 10/25「第58回地域医療連携研修会」開催予定。 11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催予定。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		成果	課題		
① 講座等	図書館活用講座の実施【再掲】行政サービス	再掲(行政支援サービスや図書館の情報提供機能について、各行政機関のニーズに合わせて説明します。)	・4/6県新規採用職員研修基礎①にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・4/13県新規採用職員研修(社会人経験者採用)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(集合研修/30分) ・5/27高知県教育センターのチーフ会にて図書館活用講座を実施(30分) ・6/2県主査研修(基礎)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・6/17高知県教育センター職員(チーフ除く)向けに図書館活用講座を実施(30分) ・6/19高知県産学官民連携センターに新たに着任した職員向けに図書館活用講座を実施(30分) ・7/21県移住促進課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・8/6県地産池消・外商課向けに図書館活用講座を実施(30分)	【成果】 ○ ・講座内容を各課の課題やニーズに応じたものにする事で、レファレンス・サービスの利用、チラシやパンフレットの収集、連携事業の依頼などに結び付いている。 ・教育センターにおいて、試行的に、講座と利用登録(共通利用カード、電子図書館)をセットにして実施した。職員の登録率が上がっただけでなく、講座で知ったサービスをすぐに利用することができ、講座の効果がより高まった。 【課題】 図書館活用講座に伴って利用登録をするためのマニュアルが整理されていない。	図書館活用講座に伴って利用登録をするためのマニュアルを整備する。
	図書館活用講座の実施【再掲】ティーンズ・サービス	再掲(図書館の本の探し方や調べ方、情報リテラシー(情報の収集や整理、評価、活用の方法、知識)を向上させる講座を行います)	【成果】 × なし 【課題】 講座の開催には取り組めていない。	サービスの実施に向けた、内容の検討が必要。 ウェブ・サイトの「ティーンズコーナー」を活用し、図書館での本の探し案内を掲載する。	
② 利用ガイド	パスファインダーの作成・提供	情報リテラシーが身に付くよう、上記の講座等にあわせ、各種のパスファインダー(テーマごとの情報の探し案内)を作成し、提供します。	【成果】 ティ)展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた 【課題】 ビ)パスファインダーの種類が少ない 健)提供中のパスファインダーの様式がわかりにくいため、様式の修正が必要。 ティ)。より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。 市)ブックリスト・パスファインダー利用についての現状の把握	健)・パスファインダーの様式を変更し、新規作成および改訂を行う。 ティ)ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。 ウェブサイトの「ティーンズコーナー」を活用し、中高生が速やかに情報にたどり着けるよう、パスファインダーへのリンクを掲載する。	
	利用マニュアルの作成・提供	上記の講座等にあわせ、分野ごとにある程度まとまった情報の探し方ガイドや重要な本等のリストを作成し、提供します。映像によるものなどの作成も検討します。	【成果】 △ 子ども向けの図書館紹介動画は子供たちに喜ばれるとともに、学校で見学前の事前学習ができることから先生方にも好評である。 【課題】	・当館ウェブ・サイトに新規で作成したブックリストを公開する。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)			令和2年度			
			令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
			成果	課題		
③ 他 の 取 組 と の 連 携	職場体験等 での実施	職場体験や図書館見学等の機会をいかし、情報リテラシーの理解を広めます。	職場体験をしに来た生徒等には、図書館での本の探し方など基礎的なことを教えた。	【成果】 ○ 図書館の活用方法など新しい知識を色々得られたと好評であった。 【課題】 すべて同じ職員が担当するわけではないので、職員により教える内容が違っている可能性がある。		教える内容を統一するため簡単なマニュアルを作成する。
	アウトリーチ (出前図書館 等)での実施	館外で行う出前図書館等を活用しながら、情報リテラシー向上のプログラムを実施します。				
	アウトリーチ 【再掲】 出前図書館 ビジネス	ビジネスセミナーやイベントなどに沿った資料やデータベースを会場に持参し、その場で資料の貸出しや資料相談を行います。	ビ)出前図書館 2 回実施 ・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。”	【成果】 △ 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。 【課題】 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。		・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。
	アウトリーチ 【再掲】 出前図書館 健康安心防 災	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。	健)・「いきいき健康チャレンジ」(高知市健康増進課主催)など、例年出前図書館を実施していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、4～8月は実施に至らなかった。	【成果】 × なし 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。		”依頼のあった以下のイベントに出前図書館で参加予定。 ・10/25 【共催・館内】第58回地域医療連携研修会 ・11/21 発達障害者就労支援セミナー ・2/10 発達障害に関するセミナー”
	アウトリーチ 【再掲】 出前図書館 行政サービ ス	講座やイベント時にテーマに沿った資料を持参し、その場で資料の貸出しやレファレンス・サービスを行います。	行政サ)出前図書館 2 回実施 ・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。”	【成果】 △ 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。 【課題】 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。		・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。

(4)行政支援サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	
		成果			
		課題			
①資料	資料の収集・提供	地域の課題に関する図書や雑誌、新聞、パンフレット等を系統的に収集し、提供します。	・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・行政向けメールマガジンでは、「今月の1冊」と題した行政職員の業務に役立つような本を紹介するコラムを掲載している。	【成果】 統計を取ることは難しいが、カウンターでの実務の実感として、行政職員による利用は増加傾向にあると思われる。 【課題】 行政職員が業務上必要とする資料は、課によって異なるため、一層のニーズの把握が重要である。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
	データベースの導入・提供	新聞記事や法務・政務関連等のデータベースを導入し、提供します。	・4/1 日本マーケットシェア事典、日本農業新聞データベースサービスを導入 ・聞蔵Ⅱビジュアルにおいて、地域面も閲覧可能な契約に変更した。	【成果】 新たに2つのデータベースを導入した。また、既存のデータベースについても、新たなコンテンツを使用できるようにするなど、利便性が向上した。 【課題】 行政レファレンスの依頼が定期的にあるが、もっと行政職員にデータベースを活用してもらう必要がある。	・引き続き県庁・市役所職員に向けて寄贈依頼の広報やPRを行っていく。 ・行政職員のニーズの把握に努め、課題解決に必要な資料の提供を今後も続ける。
	行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しても図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】年度の初めに県庁各課および出先機関、学校、警察に対し、全庁メールで行政資料の寄贈依頼を発信。併せて今年度の新たな取り組みとして、8月の執務環境整備強化月間に県庁各課・出先機関に再度寄贈依頼をおこなった。また県内市町村に対してはFAXで行政資料の寄贈依頼を発送した。市も同様に、各課に寄贈依頼の文書を送付している。	【成果】 ○ 8月に県庁各課に発信した寄贈依頼メールには、これまで反応のなかった課からの問い合わせがあり、行政資料の充実につながった。 【課題】 文書を発信した際は寄贈をしてくれるが、時間が経過すると忘れられる事もあるため、継続的な呼びかけが必要。	・時機を捉えて県市全庁に呼びかけを行う。
	各課・機関への長期貸出	団体貸出カードを使用することにより、資料の長期貸出を行います。	行政担当課単位で団体利用カードを発行 貸出期間:1か月、貸出冊数:50冊 ・行政向けメールマガジン「オーテピア高知図書館通信 Vol.16 ～団体貸出サービスでもっと便利に!～」で団体貸出・利用・返却方法・活用方法について発信した。 ・高知市役所新庁舎1階に返却ポストが新設された。	【成果】 ○ 行政支援担当が直接利用数を把握することは難しいが、メルマガ掲載以降、メルマガを読んだ職員から団体貸出についての問い合わせがあり、窓口においても団体貸出カードの申込みや利用が増加した。 【課題】 依然として利用登録をしていない県庁・市役所の課も存在する。	今後も継続して登録のメリットや、活用方法の提案について情報発信を行う。
	庁内便等の活用	図書館資料の貸出しや返却に庁内便等を活用することにより、利便性を向上します。	返却ポストの利用	県 104冊 市 862冊	【成果】 高知市役所新庁舎に返却ポストが新設されたことにより、利便性が向上した。 【課題】 特に、新設した市役所のポストについて広く周知する必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日					令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)					成果
② 利用 ガイド	ブック リスト やパス ファイン ダーの作 成・提供	仕事に役立つリスト を作成し、資料を探す 支援を行います。	ブックリスト	76 種	【成果】 ○ ・若干の内容更新をすれば継続して活用可能な図書館活用ツール(土佐MBA本科ブックリスト)を新たに作成することができた。 ・労働関係専用のチラシ架を設けたことで、より多くの方にブックリストを活用していただける環境を構築できた。県庁・市役所で直接業務に携わる職員のニーズが反映でき、双方納得いくものができた。また、日々の選書業務の参考にもなり、司書のスキルアップにもつながった。 (再掲)	・連携機関の協力も得ながら、継続して取組を続ける。 ・それぞれの連携機関のバランスを考えつつ取り組む。 ・利用者からのニーズが高い内容を選定し、パスファインダーを作成する。 ・当館ウェブ・サイトに新規で作成したブックリストを公開する。 (再掲)	
			パスファインダー	12 種 (ビジネス3種、多文化3種、健康安心4種、ティーンズ2種)			【課題】 ・ブックリストについて要望が多く、作成が追いつかない。 ・新た作成した6種類のブックリストの当館ウェブ・サイトで公開がまだできていない。 ・パスファインダーの種類が少ない。 (再掲)
<p>・昨年度に引き続き、高知県労働委員会事務局職員と協力して新たに5種のブックリストを作成し提供した(ビジネス3種、多文化1種、健康安心1種)。 ・今年度は、対面での講座の開催が難しくオンラインでの開催が増えており、出前図書館の代わりに、ブックリストを提供する機会が増えた。その中でも、高知県産学官民連携センターとの連携では、新たに6種のブックリストを作成し「土佐まるごとアカデミー本科」のオンライン受講者用として提供した。 ・労働関係の書架付近に、労働関係ブックリストを配架するチラシ架を新たに設置した。</p>							
③	庁内レ ファレン ス・サー ビス	行政運営や政策立案 に必要な情報収集や 関連調査を支援しま す。	<p>・様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介している。行政支援メールマガジンでもレファレンスを取り上げ、周知に努めている。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介している。</p>	<p>【成果】 △ 回答後、「詳細に調べてくれてありがたい」との旨の返信などがある。</p> <p>【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、行政職員向け講習の中止が相次ぎ、図書館活用講座でレファレンス・サービスをPRする機会が減少している。</p>	今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行う。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日					令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)					成果
④ 連携	庁内各機関等と連携した取組の実施	図書館の諸室で健康・環境等の各部局の課題に対応した講座やイベント、企画展示等の場を提供するとともに、あわせて図書展示や図書の紹介も行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展:県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同学習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同学習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚)など 		<p>【成果】 ○ 展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。(再掲)</p> <p>【課題】 展示の入れ替え作業の効率化(再掲)</p>	・展示入れ替え作業の効率化を図る。(再掲)	
	出前図書館の実施	講座やイベント時にテーマに沿った資料を持参し、その場で資料の貸出しやレファレンス・サービスを行います。	出前図書館	2 回実施	<p>【成果】 △ 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。</p> <p>【課題】 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。</p>	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。	
⑤ アウトリーチ	図書館活用講座の実施	行政支援サービスや図書館の情報提供機能について、各行政機関のニーズに合わせて説明します。	<ul style="list-style-type: none"> ・4/6県新規採用職員研修基礎①にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・4/13県新規採用職員研修(社会人経験者採用)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(集合研修/30分) ・5/27高知県教育センターのチーフ会にて図書館活用講座を実施(30分) ・6/2県主査研修(基礎)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・6/17高知県教育センター職員(チーフ除く)向けに図書館活用講座を実施(30分) ・6/19高知県産学官民連携センターに新たに着任した職員向けに図書館活用講座を実施(30分) ・7/21県移住促進課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・8/6県地産池消・外商課向けに図書館活用講座を実施(30分) 		<p>【成果】 ○ ・講座内容を各課の課題やニーズに応じたものにするこ とで、レファレンス・サービスの利用、チラシやパンフレットの収集、連携事業の依頼などに結び付いている。 ・教育センターにおいて、試行的に、講座と利用登録(共通利用カード、電子図書館)をセットにして実施した。職員の登録率が上がっただけでなく、講座で知ったサービスをすぐに利用することができ、講座の効果がより高まった。</p> <p>【課題】 図書館活用講座に伴って利用登録をするためのマニュアルが整理されていない。</p>	図書館活用講座に伴って利用登録をするためのマニュアルを整備する。	

3 利用者に対応した図書館サービスの充実

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

(1)児童サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
<p>○選定支援コーナー受入(雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊(雑誌52冊を除く) 県678冊(CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊</p>						
①資料	基本図書の充実 長く、子どもに読み継がれる基本的な図書を選定・収集し、提供します。	児童書の受入冊数 1,655 冊	【成果】 ○	<p>・4月からの選書の仕組みについて、10月に育休明けの職員が復帰した際に再度検討する。</p>		
	調べ学習に役立つ図書の収集・提供 子どもたちの疑問や好奇心に応え、調べ学習に役立つ図書を収集し、提供します。	↑雑誌・選定支援コーナー分は除く ・しかけ絵本を積極的に購入した。	・県市の担当で協力し、選書の合理化やスピードアップを図ることができた。			
	しかけ絵本や特大絵本の収集・提供 しかけ絵本や特大絵本等、子どもたちの興味や好奇心をくすぐるような絵本を収集し、提供します。	・県市の担当が協力して選書している。 ・傷んだ本を随時買い替えた。	【課題】 ・業務と、その日の出勤者の関係で、選書時間の確保が難しい週がある。			
②展示	タイムリーな企画展示の実施 育児に関連する図書や、子育てに関する資料等を集めた子育て支援コーナーを設置し、展示を行います。	展示回数 4 回	<p>【成果】 ○</p> <p>・展示に関連し行ったイベント(読書ラリー)が利用者から好評。</p> <p>【課題】 ・子育て関連のブックリストを新規作成していない。(再掲) ・子育て支援コーナーから各分野への誘導ができてない(再掲)</p>	<p>・子育てで支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行い、チラシ等を充実させる。(再掲)</p> <p>・子育て関連のブックリストを作成する。(再掲)</p> <p>・子育て支援コーナーから各分野への効果的な案内方法を検討する。(再掲)</p>		
		展示本 457 冊				
		ブックリスト こども…21種類、子育て応援…3種類公開中				
		・出前図書館で子育て支援コーナーのPRを1回行った。 ・情報提供のため、子育て支援コーナーにてチラシや、保育園の入所申込書を配布した。				
③利用ガイド	探し方マニュアルの提供 コンピュータによる図書館の蔵書目録(OPAC)やデータベース、インターネットの基本的な使い方に関するマニュアルを作成し、提供します。また、作成したものは当館のホームページに掲載します。	・こどもコーナーの分類マップを配布した。	<p>【成果】 ○</p> <p>・利用者がこどもコーナーの本を探しやすくなった。</p> <p>【課題】 ・OPACの使い方マニュアル未完成。</p>	・OPACの使い方マニュアルを、ティーンズ担当が作成しているものを参考に作成する。		
④レファレンス	調べものをしやすい環境の整備 児童スペース内のカウンターでのレファレンスサービスの充実を図ります。	・こどもカウンター受付レファレンス	<p>【成果】 ○・今までに作成したブックリストをファイリングし、カウンターに常備して、レファレンスツールとして活用した。(再掲)</p> <p>【課題】 ・ブックリストの配布ができていない。</p>	・ブックリストを配布する。(再掲)		
		事項 198 件				
		所蔵 3,041 件				
		合計 3,239 件				
ブックリスト こども…21種類、子育て応援…3種類公開中						
⑤行事	子どもと本を結びつける行事の実施 小さな頃から子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせ、ストーリーテリングなどを定期的に行います。	開催数	参加者数(人)	<p>【成果】 ○</p> <p>・参加者からは好評で、特に「ぴった～あかちゃんのおはなしかい」はリピーターも多い。</p> <p>【課題】 ・未就学児の参加は多いが、就学児の参加が少ない。</p>	<p>・当日の来館者への声掛けを工夫する。</p> <p>・利用登録、図書館見学などの際に、積極的に宣伝する。</p>	
		おはなし会	15			134
		手話おはなし会	1			9(4組)
		外国語おはなし会	3			58
		・おはなし会ではストーリーテリングを積極的に取り入れた。				

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度																				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			令和2年度9月以降																	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)																	
○選定支援コーナー受入(雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊(雑誌52冊を除く) 県678冊(CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊					今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)																	
⑥ 普及活動	保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及 定期的に関書館で読み聞かせを実施します。また、家庭や学校で読み聞かせなどが行えるように研修会や講座を実施し、具体的なアドバイスも行います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催数</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなしの連続講座(共催)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>子どもの本の読書会</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>ストーリーテリング勉強会</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">・読書会、勉強会のポスターを作成し掲示した。</td> </tr> </tbody> </table>		開催数	参加者数(人)	おはなしの連続講座(共催)	0	0	子どもの本の読書会	2	15	ストーリーテリング勉強会	2	19				・読書会、勉強会のポスターを作成し掲示した。			【成果】 ○ 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響で開催できなかった行事がある。 ・新規参加者の獲得。	・利用登録、アウトリーチなどの際に、積極的に宣伝する。
		開催数	参加者数(人)																			
おはなしの連続講座(共催)	0	0																				
子どもの本の読書会	2	15																				
ストーリーテリング勉強会	2	19																				
・読書会、勉強会のポスターを作成し掲示した。																						
	ブックトークの実施と普及 小学校高学年を主な対象として、ブックトークを実施します。また、ボランティアや学校関係者等への講座や研修を実施し、ブックトークを実践できる人材の育成に努めます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催数</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックトーク</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・7/16図書館サービス研修で、ブックトークの実演を行った。</td> </tr> </tbody> </table>		開催数	参加者数(人)	ブックトーク	0	0	・7/16図書館サービス研修で、ブックトークの実演を行った。			【成果】 × なし 【課題】 ・こどもにブックトークを行う機会が無い。	・外部のイベント等でブックトークを行うような機会がないか情報収集する。									
	開催数	参加者数(人)																				
ブックトーク	0	0																				
・7/16図書館サービス研修で、ブックトークの実演を行った。																						
⑦ 児童書図書を選定支援	児童書の全点購入 市町村立図書館や学校等が本の選定の際に、実際に見て参考にできるよう、出版される児童書を全て購入し、期間展示します。また、県内での巡回展示も行います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用件数</th> <th>16 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>87 人</td> </tr> </tbody> </table>	利用件数	16 件		87 人	【成果】 ○ 「毎月利用している。ないと困る」という声もあった。 【課題】 ・選定支援コーナーの広報がさらに必要。 ・巡回展示後の図書の活用方法が確定していない。	・金高堂書店の児童図書展示会や学校への巡回時に協力していただき、PRする。 ・貸室の機会をとらえてPRを行う。 ・団体カード登録時にPRを行う。 ・巡回展示後の図書の活用方法について検討を行う。														
		利用件数	16 件																			
	87 人																					
・購入して3年目の本を児童福祉施設に寄贈した。 ・6/3園長会、6/10教育事務所等・生涯学習課連絡会、7/16図書館サービス研修で、選定支援コーナーのPRを行った。																						
⑧ 連携	高知みらい科学館との連携 高知みらい科学館での講座等に関連した図書や雑誌等を展示したり、ブックトークを実施します。	・5/12～7/5、8/8～9/30「科学館モバイルミュージアム」の展示物をこどもコーナーにて展示した。	【成果】 △ ・展示物と関連する本の書架を案内できた。 【課題】 ・ブックトークができなかった。	・科学館でブックトークをする計画については、科学館と再検討をする。																		
⑨ 情報リテラシー	情報リテラシーの学習機会の提供 図書館見学の機会をいかし、自らコンピュータで資料や情報を検索する方法や図書の分類の仕組み、司書への尋ね方等を学ぶ機会を提供します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学</td> <td>12</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>こども司書受け入れ</td> <td>0 件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		団体	人数	見学	12	803	こども司書受け入れ	0 件		【成果】 ○ ・新しいスライド・台本、動画は、好評。 ・新型コロナウイルスの感染防止対策として、少人数で見学を行ったが、「声が聞きとりやすい」と好評だった。 【課題】 ・少人数のグループに分けて実施するため、回数が増え、見学対応に必要な職員数と対応時間が増加している。	・動画の活用を検討する。 ・スムーズなシフト調整・人員確保ができる仕組みを検討する。									
			団体	人数																		
見学	12	803																				
こども司書受け入れ	0 件																					
・見学の際使用するスライド・台本をリニューアルした。 ・5月に、図書館紹介動画「キリンくんとライオン司書のオーテピア高知図書館たんけんツアー」を作成し、YouTubeで公開した。																						
⑩ アウトリーチ	アウトリーチ・サービスの実施 ボランティアとも連携し、図書館から外に出て、読み聞かせや本の紹介、講座を行い、ふだん図書館に来ない子どもや保護者等に図書館への来館・利用を促します。また、これらの広報を積極的に行います。	6/3園長事務連絡会 サービスPR 6/4鏡小学校 訪問 6/5はりまや橋小学校 訪問 7/1高知こどもの図書館 訪問 8/7ババママひろば 出前 8/9親子みらい×ワーク研究室 出前・サービスPR 8/23親子みらい×ワーク研究室 出前・サービスPR	【成果】 ○ ・団体登録、見学申込、選定支援コーナーの利用増につながった。 【課題】	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行う。																		

(2)ティーンズサービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度		【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)								
		令和2年4月1日～令和2年8月31日				令和2年度9月以降							
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)											
①資料	ティーンズ・コーナーの設置・提供	○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数:約1万冊 図書 44% 新書 6% 文庫 31% 読み物 14% 雑誌 5%		○ 資料の利用実績を確認すると、図書・文庫・読み物については過去2年以内の利用実績が9割を超えており、書架の見直しに一定の効果があった。 新書については、過去2年間に全く利用のない資料が全体の1/4程度存在し、蔵書内容を見直す必要がある。	ティーンズコーナーの新書について、資料の入れ替えなど図り、利用促進に繋げたい。								
	家庭での学習が困難なティーンズに対して、図書館資料を活用した学習の場を提供します。	【取組】当年度も継続して、夏休み期間中のM5学習室の開放、及び、4F学習室での参考書の提供を行う。		【成果】△ 自習利用を目的とした学生・生徒の来館は増加している。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、館内の閲覧席を減らし、グループ室を閲覧席に転用して提供することとなった為に、学生・生徒が自習等に利用できる席が不足している。また、学生・生徒の利用マナーの悪さについて利用者からクレームが寄せられている。	新型コロナウイルス感染の防止を踏まえ、今後の閲覧席の運用について、館全体で検討する必要がある。								
	さまざまな事情を抱えるティーンズに対して、気軽に利用できる場を提供します。	【取組】不登校や進学していない人を含む県内全域のティーンズが、SNSを介して気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことができるよう「オーテピアティーンズ部」を企画し、活動を開始した。		【成果】○ 7月の活動開始後、これまでに15名の入部があった。 【課題】 部員の入部希望増加を図るための広報のあり方や、活動内容、積極的な活動の展開等の模索が必要。	学校や学校以外の居場所へのチラシの配布やウェブサイト、SNSへの掲載などを通して定期的に広報活動を実施し、「オーテピアティーンズ部」の周知を図る。								
	学校案内等の収集・提供	県内の高校、専門学校、大学等の案内、資格取得や就職に関する資料等を収集し、提供します。	<table border="1"> <tr> <td>県内の学校案内</td> <td>29</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>資格・就職に関する資料</td> <td>170</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td>進学に関する資料</td> <td>267</td> <td>冊</td> </tr> </table> 【取組】県内の各学校へ依頼文を出し、学校案内や受験要項、要覧等の収集を進めている。	県内の学校案内	29	校	資格・就職に関する資料	170	冊	進学に関する資料	267	冊	【成果】○ 学校案内等の収集に関して、学校から積極的に配布用を送付いただくことが増え、関係団体の図書館活用に対する認知度が高まっている。 【課題】 図書館で資格取得や就職、進学に関する情報・資料が得られる事について、学生・生徒へのアピールが不足している。
県内の学校案内	29	校											
資格・就職に関する資料	170	冊											
進学に関する資料	267	冊											
ティーンズを支援する機関・団体のパンフレットの収集・提供	ティーンズの悩みを聞いた相談にのったりする機関・団体のパンフレットを収集し、関連テーマのブックリスト(※1)などとともに提供します。	37種類	【取組】ティーンズ通信コーナーに専用のラックを置いて、これまで発行したブックリストやパスファインダー、ティーンズ向けの情報を掲載しているチラシやパンフレット等を配布している。	【成果】△ テーマ展示「なやみに効く本」提供の際に、県内の関連機関からチラシ等を提供いただき、本と一緒に展示した。 その他、ティーンズが参加できる講座やコンクール等のチラシを収集・配布することで、様々な情報を提供することができた。 【課題】 網羅的な収集には至っていない。	今後も引き続き、積極的な情報の収集を進めていく。 効率的で網羅的な収集方法について高知資料担当と連携し、検討する。								
②展示	ティーンズに知ってもらいたいテーマの展示	<table border="1"> <tr> <td>展示回数</td> <td>5</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>展示本</td> <td>596</td> <td>冊</td> </tr> </table> 【取組】夏休み期間中の前半は様々な部活をテーマにした「部活本！」とブックリストを、後半はティーンズ世代を対象に、誰にも言えない不安に寄り添う本や、悩みの解決の糸口になるような本の展示「なやみに効く本」を、パスファインダーとブックリストとともに展示した。 また、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた「立ち止まって、考える本」や「さくさくふわふわ お菓子の本」等のテーマ展示をティーンズコーナー近くの展示スペースで開催することにより、ティーンズ世代に本を手にとってもらえるよう意識した。	展示回数	5	回	展示本	596	冊	【成果】○ 夏休み期間中に部活がテーマの本を展示することで、読書感想文のための本を探しに来た中高生にもカウンターで案内し、多くの中高生に本を手にとってもらうことができた。 【課題】 アイデア募集など、学生・生徒が直接携わる事で利用促進に繋がるような方法を模索中。(再掲)	・本のテーマ展示の際に、より展示に関心をもってもらい、また本を手にとってもらえるよう、ティーンズ世代が思わず惹きつけられるような「お楽しみ」(ブラインドブック等)を取り入れていく。(再掲)			
展示回数	5	回											
展示本	596	冊											

③ 利用 ガイド	ブックリストの作成・提供	将来を考えるものや関心を広げるものから、学習に対応したものまで、各種のブックリストを作成し、提供します。	ブックリスト	4種	【成果】○ 夏休み期間中に部活がテーマの本とブックリストを展示することで、展示している本だけでなく、ブックリストも他のテーマ展示開催時よりも多く配布できた。(平均10部前後だが30部ほど配布実施。再掲)	今後も引き続き、本のテーマ展示に合わせてブックリストを作成していく。 ウェブサイトの「ティーンズコーナー」を活用し、中高生が速やかに情報にたどり着けるよう、ブックリストへのリンクを掲載する。
	パスファインダーの作成・提供	情報や資料の探し方のガイドであるパスファインダーを上記ブックリストとセットで作成し、提供します。	パスファインダー	2種	【成果】○ 展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた。 【課題】 より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。(再掲)	ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。(再掲) ウェブサイトの「ティーンズコーナー」を活用し、中高生が速やかに情報にたどり着けるよう、パスファインダーへのリンクを掲載する。(再掲)
④ 普及 活動	④ビブリオバトルなどのイベントの開催	読書の楽しさを分かち合えるイベント、同世代に読書の楽しさを発信できるイベントを工夫して行います。イベントの企画委員の募集等、ティーンズの参加につながるような工夫をしながら行います。	ビブリオバトル地区予選大会、ボードゲームイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。		【成果】× なし 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策が可能なイベント開催方法の検討(オンライン開催など)	試行として、「オーテピアティーンズ部」部員に呼びかけ、ミニビブリオバトルの開催を検討する。
	ブックトークの開催	読書の楽しさを知ってもらうために、さまざまなテーマに沿って、ブックトークを行い、いろいろな本があることを紹介します。また、利用者が参加するブックトークも企画します。	—		【成果】× なし 【課題】 ブックトークの実施には取り組めていない。	今後ティーンズ向けイベント等と抱き合わせで実施できるよう、シナリオを準備する。
⑤ 連携	中学・高校・大学と連携した取組の実施	学生をボランティアなどとして受け入れ、読み聞かせや学生のアイデアをいかした企画展示等を、中学・高校・大学等と連携しながら行います。	【取組】読書離れが進んでいる中高生世代と協同して読書推進活動を行う「オーテピアティーンズ部」を発足させ、県内の中学・高校、公共図書館等に広報を実施した。(164箇所) 高知県立大学オーテピアンズのボランティア登録を継続した。		【成果】△ 「オーテピアティーンズ部」は7月に部員募集を開始し、8月末現在15人が部員となっている。 【課題】 オーテピアンズの活動について、イベントを企画しているものの、新型コロナウイルスの影響で実行できずにいる。また、昨年に引き続き館内ツアーのガイドを担当することになっているが、こちらも新型コロナウイルスの影響で実行できず、職員がガイドを行っている。	読書週間中のティーンズコーナーでの展示として、グループ室を利用するティーンズ世代に取ったアンケート回答より「読んでみないか？わたしの推し本(仮)」を計画している。 中学・高校・大学との連携について内容の検討が必要。
	⑥ 情報リテラシー	図書館の本の探し方や調べ方、情報リテラシー(情報の収集や整理、評価、活用する方法、知識)を向上させる講座を行います	—		【成果】× なし 【課題】 講座の開催には取り組めていない。	サービスの実施に向けた、内容の検討が必要。 ウェブサイトの「ティーンズコーナー」を活用し、図書館での本の探し方案内を掲載する。
⑦ PR	PR誌の発行	図書館利用者から編集委員を公募するなど工夫して、読書や図書館利用が習慣になるような楽しい内容のPR誌を発行し、市町村立図書館や学校等に配布します。	ティーンズ通信 読者投稿	1回発行 2(ティーンズ部)件	【成果】△ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校が休校になったことから今年度はまだ1回しか発行していないが、定期的に発行ができています。また、7月から発足した「オーテピアティーンズ部」部員からの投稿も受け付けており、8/19現在2件の投稿があった。 【課題】 今年度は、イラストの投稿が0件、「オーテピアティーンズ部」部員の投稿2件は同じ部員からであり、部員の増加と活動の促進を図るような取り組みが必要。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。
	ブログ、SNSの活用	PR誌とあわせ、SNSの特徴をいかしたPRを行います。図書館利用者から委員を公募したり、協力者を募るなど、工夫しながら行います。	ブログ Facebook	2回掲載 17回掲載	【成果】○ オーテピアティーンズ部では、図書館からの情報発信にティーンズ世代が参加することで、同世代からの共感や本への興味・関心が高まることを期待できる。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館中も、自宅で有効に活用できるような情報の発信(学生応援リンク集、青空文庫、レファレンス共同データベース、ボードゲームアリーナ(BGA))を積極的に行った。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。

(3)多文化サービス

		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			
サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		
			今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		
① 資料	外国語で書かれた各種資料の収集・提供	各種言語の図書やデジタル資料を収集し、提供します。	<p>外国語(図書) 冊 新規収集(受入れ済分)</p> <p>日本語(デジタル) 冊 新規収集</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。</p>	<p>【成果】 △ 外国語資料のリクエストにはほぼ応えられている。</p> <p>【課題】 ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがある。 ・県内在留外国人の母語資料について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。</p>	<p>・計画的に順次購入する。</p> <p>・国際交流協会と連携し、ニーズをつかむ方法を模索する。</p>
	各種の言語の雑誌や新聞を収集し、提供します。	雑誌・新聞(外国語)	雑誌 27 新聞 13 タイトル(寄贈除く)	<p>【成果】 △ 主要な外国語雑誌は収集できている。</p> <p>【課題】 ・存在を知られていないため、利用が少ないものがある。</p>	・展示等でアピールする。
	地域の生活情報(防災等を含む)を中心に、外国語で書かれたパンフレット等を収集し、提供します。	言語 パンフレット等	最大5種 部	<p>【成果】 △ 収集・提供できている。</p> <p>【課題】 ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて紹介しようとすると設置場所が不足する。</p> <p>追加が必要なものについては各機関へ追加依頼を行うとともに、当館での印刷で対応できるもの/対応してほしいと発行機関からいわれたものについては、当館で印刷/配布している。展示期間中はwebでのアクセスについても紹介した。</p>	・すべての発行物を配置しなくても、QRコードを活用するなど、必要な情報にたどり着く工夫をする。
	日本語習得のための資料の収集・提供	日本語を学ぶ人や教える人に役立つ資料や、読みやすく理解しやすい日本語の資料を収集し、提供します。	ブックリスト 2種類追加	<p>【成果】 △ 発行されているものは収集できている。</p> <p>【課題】 ・資料があることの認知度が低い。</p>	・在留外国人への支援を行っている人や日本語学習者向けの図書館ツアーなどを実施し、PRする。
	多文化を知り理解を深めるための資料の収集・提供	日本や外国の文化に関する資料を収集し、提供します。		<p>【成果】 ○ 資料収集・提供ができている。</p> <p>【課題】 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。</p>	・需要を探る方法を検討する。
	多文化コーナーの設置・提供	多文化コーナーを設置し、収集した資料を提供します。	図書(日本語) 冊 雑誌(日本語) 22 タイトル(寄贈除く) 点字/手話(図書・雑誌・児童・約300冊)のNDC分類を10版(8類言語)へ移行した。	<p>【成果】 ○ 継続した資料収集・提供ができている。</p> <p>【課題】 ・昭和25～45年に旧県立図書館にあった高知日米センターの未分類資料(828冊)が登録できていない。</p>	・情報資料担当と協力し、計画的に登録する。
② 展示	さまざまな企画展示	外国の文化を知るきっかけとなったり、県内に住む外国人の生活に役立つ展示を行います。姉妹都市・友好都市等、高知県や高知市と交流のある都市や地域等の企画展示を行います。	<p>常設:姉妹都市展示 常設:高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展(ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22:JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30:ことば学び、世界をひろげる。日本での暮らしに困ったら編/あなたのすぐそばに、多文化。編 この他6/1/-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。</p>	<p>【成果】 ○ 多文化の理解に役立つ展示活動を行った。</p> <p>【課題】 ・常設の姉妹都市展示の更新が必要。(再掲)</p>	・常設の姉妹都市展示を改訂中。(再掲)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度9月以降	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日					
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)					
③ 利用ガイド	外国語で書かれた利用案内の提供	英語、中国語、ハングルの図書館の利用案内を作成し、提供するとともに、ホームページに掲載します。	サービスチラシ	計5種	【成果】 ○「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーで活用した。 【課題】 ・チラシやブックリスト、パスファインダーも「やさしい日本語」版が必要。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
			ブックリスト	計8種			
			パスファインダー	計3種			
			ブックリスト「留学生在留者を支援する人のための本」「日本語を教える人のための本」「にほんごをべんきょうするための本」作成。パスファインダー「日本での暮らしに困ったら」を作成。ほかに別担当との連携でブックリスト「外国から来た人と一緒に働く」作成、「多読ブックリスト」を作成中。「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを作成した。				
④ 普及活動	各種催しなどの開催	外国語絵本の読み聞かせやおはなし会、外国の文化についての講演会等、地域で生活する外国の方との交流を図るための催しなどを開催します。	開催日	講座名	参加者数(人)	【成果】 ○主催のおはなし会では動画配信を行い、非来館でも楽しめる新たなサービスを実施した。 【課題】 ・共催事業の定義を明確にできていないため、数年先の貸し施設の確保の基準があいまいであったり、貸し施設を早くおさえるための共催打診がある。 ・新型コロナウイルスの影響でイベントが制限されている	・新型コロナウイルスの感染状況をみながら、非来館型サービスを検討しておく。
			① 4/5,7/5,8/2 ② 7/19,8/16 ③ 2020/7/29	①外国語のおはなし会 ②English Nook ③多文化館内ツアー	①計58 ②計73 ③9		
			日本語学習者向け館内ツアーでは「やさしい日本語」の利用案内を作成。 【以下、新型コロナウイルスの影響で中止】 5/17,6/7:外国語のおはなし会(代わりに動画を作成) 7/11:JICA,KIA主催イベント 9/12:JICA主催イベント				
⑤ 連携	他機関等との連携	高知県国際交流協会や県内の国際交流員等と連携し、高知在住の外国人が必要としている情報の把握に努め、資料収集に反映します。	連携先	3 団体	【成果】 ○高知県国際交流協会の日本語教室と連携して、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーを開催し、図書館利用につながり、好評だった。 【課題】 既存の他機関との連携定例行事が多く、新規の連携が入る余裕がない。	・現在の共催事業について、見直しをする。	
			・高知県国際交流協会発行多言語生活情報誌「TOSA WAVE」へ電子図書館の紹介記事(外国語資料のリクエストについて)を掲載(執筆は高知県国際交流課国際交流員) ・高知県国際交流協会の日本語学習者向け館内ツアーを実施した。 ・JICA四国と連携した期間展示を行った ・国際交流課と連携して姉妹都市展示を改訂中				
⑥ 職員研修等	英会話のできる職員の育成とボランティアの活用	図書館の利用について、英語で案内や説明ができるよう、英会話の勉強会を開催するなど、職員の資質向上に努めます。あわせて、外国語で案内等ができるボランティアの活用を図ります。	勉強会	0 回	【成果】 × なし 【課題】 職員研修を行っていない。 国際理解に重点を置いた職員研修を行っていない。	英語・中国語・韓国語については高知県通訳コールセンターを利用することができるため、職員が外国語を学ぶための勉強会は実施しない。 外国語を一から学ぶ機会を設けるよりは、多文化への理解を深めるための職員研修に重点を置く。	

(4)図書館利用に障害のある人へのサービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
		令和2年4月1日～令和2年8月31日			令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)					
①資料	大活字本・LLブックの収集・提供	積極的に収集し、提供します	大活字本、LLブックは引き続き全点を購入している。		【成果】 ○ 大活字本のオーテピア開館前の平成29(2017)年の年間貸出点数は3,426点(県市合計)と比べると大幅に増えており、よく利用されている。	出前図書館の際に展示や貸出しをするなど、大活字本やLLブックの周知につとめる。	
		大活字本貸出実績	2,881	点	【課題】 LLブックについては、まだ認知度が低い。		
	録音図書の提供(デジター等)	高知声と点字の図書館やサビエ図書館が提供する利用制限付き録音図書を、図書館の窓口においても対象者に利用登録、貸出しできるようにします。録音図書の周知のため、関連団体へのサンプルの貸出しについても検討します。	・デジター図書については、バリアフリーサービスの役割分担の中で高知声と点字の図書館が役割を担っているが、連携・協力して利用者への提供・周知を実施している。 ・高知声と点字の図書館と連携し、デジター図書や大活字本、布絵本などをセットにしたサンプル『さくらバリアフリー文庫』(大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめるさまざまな資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらう。)を作成し、市町村図書館等へ貸出ししている。 ・さくらバリアフリー文庫貸出し時に録音図書等の説明に赴くとともに、近隣図書館へも訪問してPRした。 ・平成30年3月のプレ開始から令和2年8月末までに、市町村立図書館(分館除く)26館中、14館にさくらバリアフリー文庫の貸出しを実施し、広くPRしている。		【成果】 ○ 貸出先の市町村の職員やその地域の利用者から、バリアフリー資料の貸出し希望があり、好評だった。 近隣図書館に訪問してPRしたさくらバリアフリー文庫は、その場で貸出希望があり、市町村の職員および利用者への周知の機会を作ることができた。	・さくらバリアフリー文庫貸出し館を中心に、その市町村内の学校や福祉課などに対してオーテピアのバリアフリーサービスについて説明会を行わないかとの声掛けを行い、希望があれば説明会を実施する。 ・録音図書を利用者に提供する方法の説明等も、引き続き高知声と点字の図書館と連携・協力して行っていく。	
		さくらB文庫利用団体数	5		【課題】 対象となる当事者に必要な情報が届いているか不明。 必要の人に情報が届くような仕組み作りが必要。		
朗読CD、カセットブック、音声ガイド・字幕付きDVDの収集・提供	積極的に収集し、提供します。	購入点数			【成果】 ○ 昨年度購入したバリアフリー仕様のDVDは、令和2年1月から8月末までで1作品につき10回程度の貸出しがある。	・ウェブ・サイトで公開中のリストを随時更新し、当事者につながる聴覚障害者協会などに提供をする。 ・バリアフリー映画会でPRするほか効果的なPR方法を検討する。	
	朗読CD	20	点		【課題】 バリアフリー仕様DVDを必要としている人(視覚障害者・聴覚障害者)へのPRができていない。		
		カセットブック	0	点			
		音声ガイド・字幕付きDVD	2	点			
		・音声ガイド・字幕付きDVDは12点注文中。 ・令和元年度12月から人気の高い映画のバリアフリー仕様DVDの購入を開始した。					
さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供	さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供積極的に収集し、提供します。就学前の対象者と接する機会が多い保健師や、盲学校等の教育機関と連携し、提供します。	布絵本受入点数	6	点	【成果】 ○ 2Fゲート入口すぐの場所に常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。 さわる絵本の貸出点数: 8月 43点。 4月から7月の月平均 22点。	・布絵本作成中の写真をブログなどで公開し、障害のある人にもない人にも布絵本を知ってもらうきっかけとする。 ・高知声と点字の図書館が主体となり、各市町村のさくらバリアフリー文庫の貸出し館を中心に、福祉課の担当などに対してバリアフリー図書等について説明会を行い、保健師との連携を進める。	
		さわる絵本(布絵本含)貸出点数	132	点	【課題】 保健師との連携が進んでいない。		
		・積極的に収集している。 ・布絵本キットを購入し、作成を県立春野高等学校に依頼した。 ・8月1日(土)から布絵本の常設展示を開始した。 ・「さくらバリアフリー文庫」でPRしている。 ・盲学校へは、さわる絵本に限らず資料の提供を行っている。資料の相談には随時応じている。					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)		令和2年度				
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		
				【成果】		
				【課題】		
③ ボランティア	高知声と点字の図書館と連携し、ボランティアなどの養成、スキルアップ講習会等を実施	新図書館の資料について、高知声と点字の図書館と連携し、リクエストに応じて点訳や音訳、「テキスト・データ」化等の変換ができるようボランティアや協力者の養成、スキルアップ講習会等を実施します。	講習会開催数 延べ	3 回	【成果】 △ 養成講座実施中。8月31日現在全18回中3回終了。 【課題】 研修体系を見直す前の、短期間講座受講対象者にも同程度の知識が得られるよう、手当てが必要。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
			参加者数 延べ	45 人		
		・音訳ボランティア養成講座を8月1日開始した。令和3年3月20日まで。全18回。 ・対面音訳ボランティアの技術向上を図るため研修体系を見直した。新規の対面音訳ボランティアは全18回の音訳ボランティア養成講座を受講した後、対面音訳見学の実習を終了した者を登録する。				
	さわる絵本や布絵本等について、ボランティアによる作成を支援します。	総合的な学習の時間の探究活動の中で布絵本の縫製も実施している県立春野高等学校に、布絵本キットを提供し、作成を依頼した。			【成果】 ○ 県立春野高等学校で作成中。12点作成見込み。 【課題】 ボランティア活動の普及・広報。	布絵本作成中の写真をブログなどで公開し、図書館と県立学校が連携した取り組みを紹介するとともに、布絵本を知ってもらおうきっかけとする。
④ PR	わかりやすいパンフレットの作成	障害者サービスを知っていただき、必要としている方に必要な情報をお届けするため、わかりやすく、使ってみたくなるきっかけづくりを大切にパンフレットなどを作成します。また、マンガ等の活用も検討します。	・6月に点字版・音声版の利用案内等を盲学校など関係機関への配布を開始した。 ・近畿視覚障害者情報サービス研究協議会作成のひな型を使用した誰にでもわかりやすいLL版利用案内を作成中。		【成果】 △ 関係機関に点訳版・音訳版の利用案内等の配布を行ったが、これといった反応がない。 【課題】 バリアフリーサービスが必要な人に情報が届くような仕組み作りが必要。	・バリアフリーに関するイベントや出前図書館を活用して、当事者や当事者の家族、施設職員などに対し、サービスやサービス利用案内の媒体(点訳版・音訳版)についてPRを行う。 ・LL版利用案内を作成後、ウェブ・サイトへの掲載、また、各学校や図書館等に配布し、広報する。
	ホームページでの情報発信	当館のホームページで、音声・動画を活用し、音声・映像資料のサンプル提示等により、情報発信します。	音声・動画	17 本	【成果】 ○ 来館が困難な方でも楽しめるコンテンツを提供することができた。 【課題】 字幕がついていないものがほとんどであり、バリアフリー対応ができていない。	・今後作成する動画には字幕を入れる。 ・手話で楽しむおはなし会の動画を作成して発信するなど、当事者がわかりやすい媒体での情報提供も行う。 ・手話による利用案内動画作成に取り組む。
		アンケート項目の設定・委託業者の選定を行った。 <アンケート対象> ・特別支援学校 ・各障害者の団体・事業所・支援施設 ・難病等団体・高齢者介護事業所			【成果】 △ 準備中。年度内にアンケートの集計結果が出る予定。 【課題】 当事者本人が自ら書くことが難しい場合、施設等担当者に当事者に対して聞き取りをしてもらうなど、施設の協力が必要。	施設等担当者に事前に電話で説明し、協力をお願いする。
⑥ 職員研修	多様な障害特性の理解や接遇研修の実施	障害特性を理解し、適切な配慮のできる職員を養成します。また、接遇研修を行うことで、圧迫感のない、やさしい窓口を目指します。	・6月19日のオーテピア全体会で『障害のある人への配慮について』研修を行い、現場での各障害者への対応を、DVD視聴などを通して学習した。 ・毎年年度当初に接遇研修を実施している。		【成果】 ○ ・毎年度受講することにより、障害に対する理解が深まっていく。 ・6月19日の研修では現場での筆談対応例などを動画で見ることができ、実際の窓口対応での参考になった。 【課題】	年度途中から採用の職員もやさしい対応ができるよう、日常的に研修の復習や障害特性等話題にし、職員みんなが理解できるきっかけをつくる。
	筆談等の研修の実施	筆談、音訳や資料の変換を実施・コーディネートできる職員を養成します。	・筆談については、平成30年度に研修を実施、全窓口で対応できるようにしている。 ・音訳については、高知声と点字の図書館が音訳者の養成講座を実施し、コーディネートも行っている。		【成果】 ○ ・筆談は随時実施している。 ・高知声と点字の図書館がコーディネートを行い、養成したボランティアは、音訳等資料の変換を実施しており、変換された音訳資料はサビ工図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】	コーディネートは高知声と点字の図書館で行っているが、研修の実施等、連携・協力して行う。
	手話勉強会の実施	高知市では、手話言語条例を制定しています。手話によるコミュニケーションに理解のある図書館を目指し、手話に関する職員勉強会を行います。	月1回のオーテピア全体会で全職員対象にミニ手話研修を実施している。		【成果】 ○ 毎月繰り返すことにより、手話が身近なものになっている。 【課題】 内容について年間を通した研修計画ができていないため、同じ内容の繰り返しになっている。	・引き続き、高知市職員向けの手話講座受講者によるミニ手話研修を、オーテピア全体会で実施していく。 ・手話の利用案内作成と合わせ、窓口でも使用頻度の高い手話を順次学んでいけるよう、計画的に研修を実施する。

4 連携・支援及び図書館の活用

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

(1)市町村立図書館等への支援(県立図書館機能)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度					【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日							令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)							
① 人的支援	巡回訪問や依頼訪問等による支援	県の東部や中央、西部の各ブロックの担当司書を配置し、市町村立図書館等への巡回訪問や依頼訪問等により、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。	巡回訪問	20 市町村 延べ	25 回実施	【成果】 ○ ・各館の整備状況やコロナ対応等の情報収集・共有を行うことができた。 【課題】 コロナ対策のため休館や入館制限を行っていた市町村が多かったことが影響し、例年より訪問回数が減少した。新任の担当者との顔合わせができていない市町村もある。	・各市町村の状況を確認しながら、早急に巡回訪問を開始する。 ・電話やブログ等を活用し、対面によらない相談、助言を積極的に行う。		
			依頼訪問	1 市町村 延べ	2 回実施				
		・移転や図書館整備計画等の動きがある自治体への巡回を中心に行い、状況を聞き取り、相談に応じるなどの支援を実施した。 ・館長や生涯学習課とともに、図書館整備の動きがある教育委員会への訪問を行い、各市町村の状況確認を行った。							
	レファレンスへの協力	市町村立図書館等では解決が難しいレファレンスへの支援を行います。	受付件数		4 件	【成果】 △ ・レファレンスがほとんどなかった市町村からもレファレンスの依頼が増えている。 【課題】 ・蔵書が脆弱なため自館での解決ができなかったと思われるケースも見受けられる。 ・対応する職員のスキルアップが必要。	・巡回訪問の際などに、当館の研修プログラムの紹介をする。 ・レファレンスに回答するだけでなく、今後も参考になりそうな資料や定番の資料については、自館で整備するよう促す。		
	研修の実施	市町村立図書館の職員等に対して、高知県図書館職員研修や個別テーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を図ります。 市町村立図書館等の職員を県立図書館に受け入れて行う研修を実施します。	研修会名等	開催数	参加者数	【成果】 ○ ・経験年数に応じた研修機会を提供することで、スキルアップの機会を提供できた。 ・外部の講師を招くことで、より専門性の高い研修が開催できた。 ・図書館だけでなく、公民館図書室、教育委員会、学校図書館からの参加も多くあった。 ・市町村図書館が行う研修にも寄与することができた。 【課題】 ・コロナの影響により、予定していた講師が来県できなくなるなど、専門研修の講師招請が難しい。 ・参加者同士のディスカッションができないなど、実施上の制約が増えている。	・中堅研修の第2回目(9月)と専門研修(12月)を実施予定。 ・遠隔地でも受けられる研修の実施や、情報提供についても検討する。		
		ブロック別研修会	3	60					
		図書館サービス研修(初任者研修)児童サービス編	1	34					
		図書館サービス研修(中堅研修)第1回「図書資料の選定・除籍」	1	39					
		・階層別(初任者/中堅職員)の研修を実施した。 ・4月に実施予定であった図書館サービス研修(初任者研修)「総合編」は、コロナによる休館のため中止。希望者には、研修資料を送付した。 ・土佐市民図書館が館内研修を実施するにあたり、当館職員が作成した研修資料やスライドを参考資料として提供した。							

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日						令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)						
① 人的支援	企画展示	市町村立図書館等における企画展示の実施を支援するため、テーマに応じた資料の貸出しやブックリストの提供等、一括して行います。	セット貸出	47	セット延べ	1,413冊	<p>【成果】</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> タイムリーな内容の資料を提供ができたため、ブログでの紹介直後から貸出依頼があり、すでに複数回利用されたセットもある。 ブログで紹介したセットに利用申込や問合せなどが多くあった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決系のセットへの要望や利用が少ない。 利用する図書館に偏りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsや感染症予防など、話題のトピックに関するセットを中心に作成の準備を進め、利用喚起につなげる。 貸出が少ないセットや話題のトピックに関するセットは、内容等にも踏み込んで複数回紹介するなど工夫をする。 ブックリストの提供方法について検討する。
	課題解決支援サービスの実施	市町村立図書館等において課題解決支援サービスに取り組むことができるよう、専門機関の紹介や出張講座の共同実施等を支援します。	専門機関紹介	0	回		<p>【成果】</p> <p>× なし</p> <p>【課題】</p> <p>ビジネス・産業系に関しては、レファレンスやサービスへの問い合わせもなく、ニーズを生み出せていない。</p>	当館の取組み紹介を実施する。
	行政支援サービスの実施	市町村立図書館等において行政支援サービスが行えるよう、関連図書への協力貸出に加えて、市町村立図書館等の職員に対する研修、レファレンスへの協力等の支援をします。	出張講座	0	回実施		<p>【成果】</p> <p>× なし</p> <p>【課題】</p> <p>市町村立図書館の資料収集やサービスの向上に寄与するため、ニーズの把握が必要。</p>	当館の取組み紹介を実施する。
② 物的支援	市町村のニーズに応える資料の収集・提供	協力貸出用の資料を収集し、提供します。	移動図書館用	3,158	冊		<p>【成果】</p> <p>○</p> <p>現場のニーズを資料の収集に反映でき、協力貸出用資料の充実が図れている。</p> <p>【課題】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きニーズ把握と蔵書整備に努める。 市町村立図書館等で収集した方が良い資料については購入を促す。
	情報提供の工夫	協力貸出の活性化のため、テーマに応じたブックリストを作成し、提供します。	協力貸出用	636	冊		<p>【成果】</p> <p>× なし</p> <p>【課題】</p> <p>市町村立図書館の資料収集やサービスの向上に寄与するため、ニーズの把握が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、巡回訪問等を通してニーズの把握に努める。 ブックリストの提供方法について検討する。
			新規貸出セット	22	セット			
				552	冊			
			<p>・巡回訪問での聞き取りや協力レファレンス、協力貸出等の日常業務でニーズを把握し、資料の収集に反映させている。</p> <p>・市町村の選書を支援するため、希望する市町村に「新刊全点案内」の配布を開始した。</p>					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日						令和2年度9月以降
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)						
② 物的 支援	相互貸借の活性化	図書館情報システム未導入の市町村立図書館等の所蔵情報を収集し、県内図書館横断検索システムで所蔵状況の検索ができるようにします。	—		【成果】 WEB-OPAC導入数 24市町村中19市町村(2市町村は今後、導入可能性あり) ※H29 14市町村 【課題】 残りの図書館はWEB-OPACに対応したシステムの導入が現状では困難である。また図書館未設置町村の多くは、蔵書の整理・登録を行うことができる職員おらず、蔵書も脆弱なため、システムによる蔵書管理や他市町村への貸出の実施は現実的ではない。	【廃止】市町村立図書館で図書館情報システムの導入や横断検索システムへ参加が進み、システム面での相互貸借活性化という目標は概ね達成した。横断検索システム未参加の一部図書館や図書室に関しては、所蔵データの整理や他館からの貸出依頼への対応が人的・蔵書的に難しい状況であり、横断検索システムへの参加自体は難しいが、他館からの借受が主たる利用であり、より多くの図書館から借受ができるようになったことで利便性が向上している。		
	物流便による資料の配送	休館日を除き、毎日、協力貸出や相互貸借の資料を当館の負担で、市町村に配送します。	配送対象	61 箇所	【成果】 ○ ・図書館だよりや自治体の広報誌で、遠隔地返却や相互貸借について掲載された。 【課題】 ・相互貸借など利用できるサービスについて、引き続き周知していく必要がある。	継続して取組を続ける。		
③ アウトリーチ	アウトリーチ・サービスの実施	出前図書館等を通して、市町村立図書館職員等と一緒に外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。	市町村からの要望がなく、また、巡回訪問の中でも、提案できるようなニーズを把握できなかった。		【成果】 × なし 【課題】 ・要望がなく、ニーズも見いだせていない。 ・市町村立図書館からは、職員が少ないため図書館外での活動は困難との声もある。	アウトリーチを実施できる可能性がある図書館を対象に当館の取組み内容について情報提供し、潜在的ニーズの有無を図る。取組へのニーズがないと判断される場合は、今後の方針について検討する。		
④ P R	広報紙への掲載等	市町村立図書館を通して受けられる図書館サービスの情報を市町村の発行する広報誌に掲載するなど、周知を図ります。	住民へのサービスの周知について、協力を呼びかけた。また、広報等への掲載に際して、情報提供を行った。		【成果】 ○ 図書館だよりや自治体の広報誌で、遠隔地返却や協力貸出、移動図書館について定期的に掲載されている。 【課題】	広報誌でのPRは各市町村で一定定着しているため、新たな取組は行わないが、オーテピアサービスチラシの提供等、PRへの協力依頼は継続して実施する。		

(2)高知市全域サービスの拠点

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度		令和2年度9月以降	
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	
			【成果】		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
① 利用 ガイド	ブックリストやパスファインダーの提供 文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、作成されたブックリストやパスファインダーを分館や分室でも提供します。	本館で作成したブックリスト71種類、パスファインダー12種類(ティーンズ2種類ビジネス3種類、多文化3種類、健康安心4種類)を、ウェブサイトで公開中	【成果】 △ 公開中のブックリスト・パスファインダーの増。 【課題】 ブックリスト・パスファインダー利用についての現状の把握		・パスファインダー・ブックリストの分館・分室における活用状況の把握
② レファ レンス	レファレンス・サービスの充実 分館や分室でもレファレンス・サービスの充実を図ります。	分館・分室での受付件数 - 件 月報で、レファレンス事例の報告が挙がっている。 受付件数は取っていない。	【成果】 ○ 分館・分室からのレファレンス回答の相談について速やかに対応できている。 【課題】 分館・分室で受けるレファレンスの実態の把握		・レファレンスの受付件数の統計をとる。
③ 連携	学校図書館との連携 高知市内の小・中・義務教育・特別支援学校との連携を密にし、学校で求められる資料の団体貸出を行います。よく借りられるテーマの図書をまとめて貸し出すセット貸しの充実を図ります。	教科書改訂に合わせた団体貸出セットの内容の見直し	【成果】 △ 団体貸出セットは更新作業中。 【課題】 団体貸出セットが十分に活用されていない。 学校現場のニーズの把握		・学校現場のニーズ調査 ⇒講師として赴く11月の学校図書館支援員研修会では、(学校教育課で)事前アンケートを取り、出てきた質問や相談に応える時間を設ける。 ⇒近くの分館・分室の活用をPR
④ PR	分館・分室の周知 身近な図書館である分館・分室について、もっと広く知ってもらい、利用してもらえよう当館のホームページやフェイスブック、パンフレットなどで積極的にPRを行います。	2F共同学習スペースの県内市町村図書館用のチラシスタンドに分館・分室作成の広報紙を設置した。(4分館室) 潮江分館リフレッシュオープン広報	【成果】 ○ ウェブサイトでの定期的な分館・分室情報の掲示や広報紙の配布など、一定PRはできている。 【課題】 ネット環境を持たない市民への広報の充実		・オーテピア高知図書館の分館・分室であることの周知・徹底の継続(オーテピア、分館・分室双方で)
	移動図書館の周知 移動図書館の巡回場所や時間を当館のホームページなどに載せて広く知ってもらい、利用の促進を図ります。	【巡回集計】R2.4.1現在 ステーション 67箇所 学校 10 保育園 78 配本所 9 合計 164箇所 ・安全な移動図書館バスの運行により、遅滞のない利用サービスを遂行している。 ※老朽化により移動図書館車両の買い替え(令和3年2月納車予定)を実施	【成果】 ○ 保育園用紙芝居セット利用の新規申し込みが1件あり、6月巡回から貸出開始 【課題】 新規の移動図書館利用の申し込みについては、一定の要件があるため、全てに応じることは困難。		・ステーション近隣住民へのPRの強化
⑤ 職員 研修	接遇力の向上 分館・分室職員のコミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的実施します。	コロナ感染拡大防止にかかる対応について情報共有した。	【成果】 △ ・ガールーンや業務協議研修会で利用者対応に関わる案件について全体共有し、具体的な対応方法について説明を行っている。		3月のシステム更新のための全館休館の期間に全体研修を実施する。
	調査能力の向上 レファレンス事例の情報共有や、定期的な研修の実施により、分館・分室職員の調査能力の向上に努めます。	本館司書が分館分室を巡回し、各館室の業務用端末に(土佐史談用の検索ツール)「探三郎」を設定して、使い方のレクチャーを行った。	【課題】 ・全体研修の機会が少ない。		

(3) 県立学校図書館との連携・協力(県立図書館機能)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度				【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		
		令和2年4月1日～令和2年8月31日						令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)							
① 協力	学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し	県立学校に、要望するテーマに応じた資料のまとめ貸しなどを行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	セット数	22 セット		【成果】 ○ ・学校訪問で学校司書や司書教諭に直接説明を行うことにより、貸出依頼や利用問い合わせの増加につながった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大による休校のため、学校訪問ができていない学校があり、貸出利用がない学校も多い。 ・オーテピアと距離が近い、借りたい冊数が少ない等の理由で物流サービスの利用にハードル、遠慮を感じている学校がある。 ・市町村立学校(小中学校)が要望する資料は、テーマや利用時期が重複する事が多く、要望どおりに貸出しできない場合がある。	・学校訪問を行い、サービスをPRをおこなうことで、より多くの学校に利用してもらう。 ・学校訪問で聞き取ったニーズも反映しながら貸出セットを作成し、ブログ等によるPRを行う。 ・1冊の貸出から利用できることや、教職員が業務で使用する資料の貸出もできることなど、きめ細かな説明に努める。 ・市町村立学校のニーズが高い資料については、資料収集に努めつつ、市町村立図書館での整備も促していく。		
	貸出冊数	14 件	302 冊						
	・コロナの影響のため、7月から学校訪問を開始した。 ・物流サービスの対象を全県立高校と私立高校に拡大し、利便性の向上を図った。								
	依頼訪問等による支援	学校図書館の要望に応じて、市町村立図書館職員等と一緒に依頼訪問等を行い、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。	8 校	8 回				【成果】 ○ 学校訪問をすることで、気軽に相談をしやすい関係づくりにつながっている。 【課題】 相談が寄せられる前提となる学校司書との関係構築が途上である。	・県立学校を中心に学校訪問を継続し、ニーズの把握や、相談しやすい関係づくりをより進める。 ・小規模校や学校司書未配置校の状況について情報収集に努める。 ・市町村立学校については、市町村立図書館等を通じて随時対応する。
	・県立学校支援担当を配置した。 ・支援内容の周知や、ティーンズ担当が新たに開始する「オーテピアティーンズ部」の紹介を行った。								
レファレンスへの協力	県立学校へのレファレンスの支援を行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	レファレンス貸出	14 件		【成果】 ○ 訪問を行い、顔が見える関係になった学校司書からは、高い確率で貸出依頼などのリアクションがあり、利用のハードルを下げる効果が表れている。 【課題】 資料のまとめ貸しという形での回答が求められるため、貸出用資料がないテーマへの対応が困難(郷土資料、データベース等)。	・要望の多いテーマに関しては、積極的に資料を収集するとともに、他校の利用事例を紹介するなど、サービスのPR方法を検討する。 ・インターネット上のツール等を紹介するパスファインダーの作成等も検討する。			
ブックリストやパスファインダーの提供	学校図書館の資料選定に役立つブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。	作成するテーマを検討中。					【成果】 × なし 【課題】 学校によってニーズが大きく異なるため、汎用性のあるテーマ設定が難しい。		
研修の実施	市町村立図書館職員等に対して実施する研修について、学校図書館への情報提供を強化し、人材の育成を支援します。	開催日	研修名	学校参加者数	【成果】 ○ ・全県立学校へ研修の通知を行った結果、司書教諭や学校司書の参加が増加した。県立学校の学校司書からの紹介で私立高校の司書教諭の参加につながった。 【課題】 ・県立学校のみで通知を行ったため、私立高校から研修参加の是非について問い合わせが寄せられるなど、対応が不十分だった。	・私立高校にも研修の案内を行い、学校訪問の際にも案内を行っていくことで広く参加を呼び掛ける。			
6月(8,15,22日)	ブロック別研修	3							
8月26日	図書館サービス研修「中級(選書)」	7							
② アウトリーチ	出前講座等の実施	児童・生徒を対象とした出前講座等を実施します。	出前講座	0 回実施		【成果】 × なし 【課題】 ・講座の内容について検討や準備ができていない。	学校訪問等の際に具体的に紹介できるよう、「オーテピアの活用方法」「司書の仕事」等をテーマとしてプログラム化を検討する。		
・塩見記念青少年プラザから、中高生に向けた講座の依頼があった(9月実施予定)。									
③ PR	サービスの周知	学校図書館職員等を対象とした図書館の利用ガイダンスを実施します。	訪問	8 校		【成果】 ○ ・学校訪問で学校司書等に直接説明することが利用の促進につながっている。 ・学校訪問をきっかけに、学校司書と図書部員がオーテピアへ自由見学に来館するなど、図書館利用の促進につながった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大による休校のため、すべての学校へ訪問ができていない。	・未訪問校を中心に学校訪問を継続し、学校司書等との連携強化を図る。		
	貸出	11 校	605 冊						
	・利用マニュアルやガイドブックを全校配布し、県立学校長会で説明を行った。 ・拠点校や近隣校を中心に学校訪問を実施した。 ・教育センターの教員を対象に図書館活用講座を実施した(アウトリーチ担当)。								

4 連携・支援及び図書館の活用

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

(4) 中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			
		令和2年4月1日～令和2年8月31日		令和2年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	
		【成果】			
		【課題】			
① 中心市街地活性化への寄与	観光情報の収集・発信	外国人観光客にも対応した、高知の観光に関するチラシやパンフレットを収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	1階エントランス・ロビー、共同学習スペース、ことばと国際交流コーナー(外国語)、高知資料コーナー、移住関連の常設展示コーナー等にて観光に関するチラシやパンフレットを提供している。	【成果】 ○ 高知資料担当で依頼窓口を一元化し、開館当初の混乱は解消され、効率的な収集が行えている。 【課題】 配布希望が多く、場所に対して設置数を調整している。	配布物毎に、館内での配布調整を行う。
	商店街や日曜日等の情報発信	商店街や日曜日等に関する情報を収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	・新型コロナウイルス感染症の影響で、高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)は機能していない状況。 ・商店街関係の情報を積極的に収集・把握し、日曜日や商店街イベントに関するチラシやパンフレットは、希望に応じて館内に設置している。	【成果】 △ 館内のパンフレット配布による効果の確認は難しいが、一定の効果はあると思われる。 【課題】 図書館で提供する日曜日に関する情報更新の頻度	所管課と協議し、提供手段について検討する。
	インターネット利用(WiFi接続)環境の提供	利用者自身のタブレットやスマートフォンを使い、無料でインターネットに接続できるWiFi環境を、全館で提供します。	1端末ごとの使用帯域3Mbpsを上限に、開館時間の運用を実施。	【成果】 ○ トラブルなく運用できている。 【課題】	引き続き、安定したWiFi環境の提供を継続する。
	宿泊施設への団体貸出	団体貸出について、宿泊施設のニーズを把握しながら、実施に向け検討します。	【取組】団体貸出PRチラシを作成し、旅館組合を通して、各旅館にPRするための準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、団体貸出PRチラシは印刷を見合わせ中。	【成果】 × なし 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大による観光産業への打撃が懸念される中、政府施策である「Go to トラベルキャンペーン」が始まったが、不特定多数の人が同じものを触るといった団体貸出の特質上、まだ宿泊施設向けにPRできる状況ではなく、今後の提供方法・時期について課題がある。	新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、チラシ配布案自体の廃止を検討。
	多目的広場の活用	商店街等との連携のもと、多目的広場を活用し、イベントなどを開催します。	・コロナの影響により、イベント等の利用実績なし。 ・お城下文化の日(11/15)イベント会場は追手門前だが、他のイベントが入る可能性あり。その場合は、多目的広場に変更予定。	【成果】 × なし 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでのイベント開催。	新型コロナウイルス感染症対策を十分に取ったうえでイベント実施を検討していく必要がある。
	商店経営に役立つ図書等の収集・提供	商店経営の仕方や商品ディスプレイのノウハウなど、商店街の振興に役立つ図書や雑誌・新聞等を収集し、提供します。	・リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入している。 ・5月の「得する街のゼミナール」は中止となったが、第14回まちゼミの内容をおうちで再現できそうな本を展示した「うちゼミ」展示を実施するなどして、各店舗の情報を意識して、選書している。	【成果】 ○ 経営やビジネスの本に関してはコンスタントにレファレンスや貸出しがある。 【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で、ミニデータベース講習会は開催できていないが、その他の講座については、順調に計画が進んでいる。	帯屋町筋やまちゼミ実行委員会等を通じて商店街の情報ニーズを把握する方法を検討する。(商店街限定で、OPACでの事前検索を前提とした、予約までは不要だか図書館に所蔵してほしい本を気軽に図書館に伝えることのできるサービスの展開など)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度			【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・R3年度予算に計上するもの ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)					
		令和2年4月1日～令和2年8月31日					令和2年度9月以降				
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.8の実績(数値は8月31日時点)									
	商店街との協働	商店街の様々なイベント(「得する街のゼミナール」、「土佐のおきゃく」など)と協働した取組を行います。	<p>・5/12～5/31 第14回得する街のゼミナールは中止となったが、各店舗ののまちゼミ内容をおうちで再現できそうな本の展示「うちゼミ」を実施した。</p> <p>・今年度の土曜夜市は中止。土曜夜市に代わるイベント「おまちdeプチ夏祭り」のチラシを館内で提供した。</p> <p>・オーテピア来館者200万人達成のポスター掲示への協力(掲示場所:帯屋町1丁目と2丁目、中ノ橋通)</p> <p>・金高堂書店が開催した図書館ブックフェア(児童図書・優良図書の展示会)への参加</p>			<p>【成果】 ○</p> <p>展示を見た商店街の方に喜ばれた。</p> <p>【課題】</p> <p>商店街のまちゼミ担当者と繋がっているSNSが2014年の頃のものであり、メンバーの変動が反映されていない。</p>	<p>コロナ禍の中、商店街の方と協働できることは何か、コミュニケーションを取りながら考えていく必要がある。</p>				
	まちなか図書館の実施	商店街等の店舗に、一定期間、図書館の本を貸し出すことにより、来店者等に広く活用してもらう「まちなか図書館」を実施します。	<p>5/20 まちゼミ参加店で作るLINEグループにて、団体貸出の紹介を行う。</p>			<p>【成果】 △</p> <p>まちゼミ実行委員会等での貸出しを検討していただいている。</p> <p>【課題】</p> <p>1か月50冊という貸出方法では利用しにくい(冊数は少なくてもよいのでもっと長期で借りたい)という商店街の方からの声がある。</p>	<p>ニーズに応じた新たな商店街向けの貸出運用を商店街の方とも協議しながら検討していく(3か月10冊運用など)。</p>				
② 周辺施設との連携	歴史的資料の展示	高知城歴史博物館等と連携しながら、図書館に収蔵されている歴史的な貴重資料の企画展示を行います。	<p>【取組】</p> <p>県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。</p> <p>①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17)</p> <p>②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ※展示解説・・・6/6(1名)・6/20(4名)</p> <p>③中城文庫展(7/21～9/22) ※展示解説・・・8/2(5名)・8/9(5名)・8/16(4名)・8/30(6名)</p>			<p>【成果】 △</p> <p>外部機関等との連携はなかったが、図書館単独の展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。</p> <p>【課題】</p> <p>コロナ禍によって周辺の文化施設が軒並み閉館および活動自粛となっており、連携はできなかった。この状況においても可能な他施設との連携方法を検討する必要がある。</p>	<p>9月以降の展示予定</p> <p>①三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27)</p> <p>②装いと粧い-眠りから覚めた 愛おしきものたち-(1/9～4/18)</p>				
	文化施設との連携	高知城歴史博物館や文学館、高知城等の歴史ある文化施設と連携しながら、観光や文化に関する情報を積極的に発信します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>内容</th> <th>連携先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/1～</td> <td>周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布</td> <td>周辺文化施設・お城下ネット</td> </tr> </tbody> </table>	日付	内容	連携先	4/1～	周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布	周辺文化施設・お城下ネット	<p>【成果】 ○</p> <p>各文化施設のイベント等を周知させることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>情報発信手段の検討</p>	<p>11/15(日)</p> <p>お城下ネット参加各施設と連携して、イベント「お城下文化の日」開催(予定)</p>
	日付	内容	連携先								
	4/1～	周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布	周辺文化施設・お城下ネット								
	教育・産業支援施設との連携	ココプラ(高知県産学官民連携センター)などが行う講演会やセミナーなどにおいて、講師の著書やお薦め本など利用者のニーズにあった図書を提供します。	<p>・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施</p> <p>・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施</p> <p>・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。</p>			<p>【成果】 △</p> <p>貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。</p> <p>【課題】</p> <p>出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。</p>	<p>・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。</p>				
	事業者が企画書等を作成する段階から、図書館の資料や情報を提供し、支援機関と一体となって支援を行います。	<p>高知県産学官民連携センターが事業者・起業家支援のために開催する『土佐経営塾』で今年度は録画配信での図書館活用講座を実施する。実施に向けて準備中。</p>			<p>【成果】 △</p> <p>順調に準備を進めている。</p> <p>【課題】</p> <p>現状では特になし。</p>	<p>配信用の動画制作を進める。</p>					
	学生をボランティアなどとして受け入れ、読み聞かせや学生のアイデアをいかした企画展示等を、中学・高校・大学等と連携しながら行います(再掲)。	<p>高知県立大学オーテピアンズのボランティア登録を継続。昨年度に引き続き、館内ツアーのガイドを担当してもらう予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、10月以降の活動を目指すこととなった。</p>			<p>【成果】 × なし</p> <p>【課題】</p> <p>来館せずにできる活動を検討する必要がある。</p>	<p>オーテピアンズからの申し出により、非来館型の企画(SNSでの大人向け読み聞かせの配信)を計画。また、12月に来館イベント(大人向け読み聞かせ会)も計画。</p>					